

「綾川町都市計画マスタープラン」
改訂に関するアンケート調査
報告書

令和4年12月

綾川町

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的.....	1
	(2) 調査の方法等.....	1
	(3) 調査の内容.....	1
	(4) 報告書の見方.....	2
2	調査の結果	3
	(1) 回答者の属性.....	3
	(2) まちづくりに対する評価と期待について.....	8
	(3) 綾川町の将来像について.....	18
	(4) まちづくりの方向性について.....	22
	(5) 南部地域のまちづくりについて.....	40
	(6) まちづくりの方法・参加について.....	44
3	資料編	48
	(1) 調査票.....	48

1 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 27 年 3 月策定の都市計画マスタープランに基づき進めてきた本町のまちづくり施策の実施状況や社会情勢の変化を踏まえ、地域住民のこれからのまちづくりに関する意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査の方法等

対象	18 歳以上の住民（住民基本台帳から無作為抽出）
方法	郵送配布、郵送回収及び WEB 入力方式
時期	令和 4 年 8 月 17 日～8 月 31 日
発送数	2,500 票
回収数	948 票（回収率 37.9%）

(3) 調査の内容

項目	設問内容	
回答者の属性	問 1	性別
	問 2	年代
	問 3	職業
	問 4	居住地域
	問 5	居住歴
	問 6	居住期間
	問 7	住宅の形態
まちづくりに対する評価と期待について	問 8	綾川町がまちづくりにおいて進めている取組についての現状の満足度と将来に向けた重要度
綾川町の将来象について	問 9	綾川町の将来像
	問 10	お住まいの地区の将来象
まちづくりの方向性について	問 11	住宅地の整備について
	問 12	商業のあり方について
	問 13	工場や企業誘致について
	問 14	農地のあり方について
	問 15	道路整備について
	問 16	公園・緑地整備について
	問 17	良好な景観形成について
	問 18	公共交通について
	問 19	防災・減災について
南部地域のまちづくりについて	問 20	南部地域の魅力について
	問 21	南部地域の魅力を活かすために必要な取組
まちづくりの方法・参加について	問 22	住民と行政の役割分担
	問 23	まちづくり活動への参加
その他	問 24	自由記述

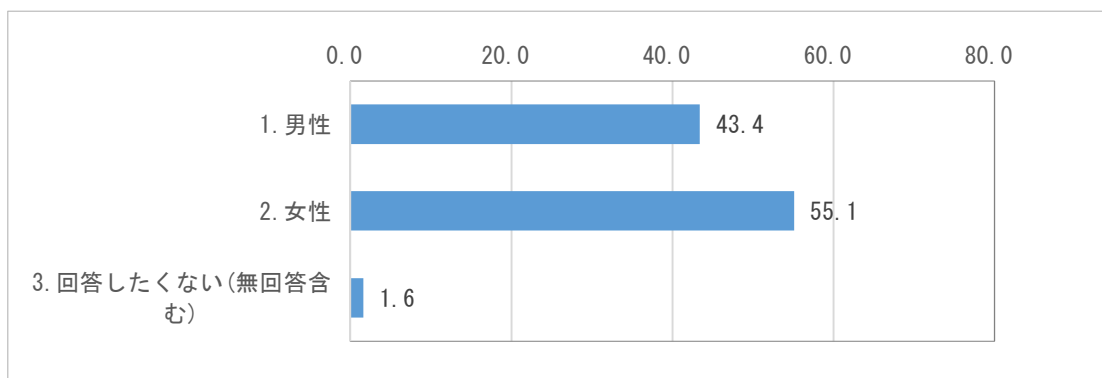
(4) 報告書の見方

- ①集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ②2つ以上の回答を可能（複数回答）とした質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- ③図表中における年代別などの属性や、他の質問とのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答（例えば、年代別でクロス集計する場合における年代の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- ④図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は図中標記から省略している場合がある。
- ⑤報告書中の図表では、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

2 調査の結果

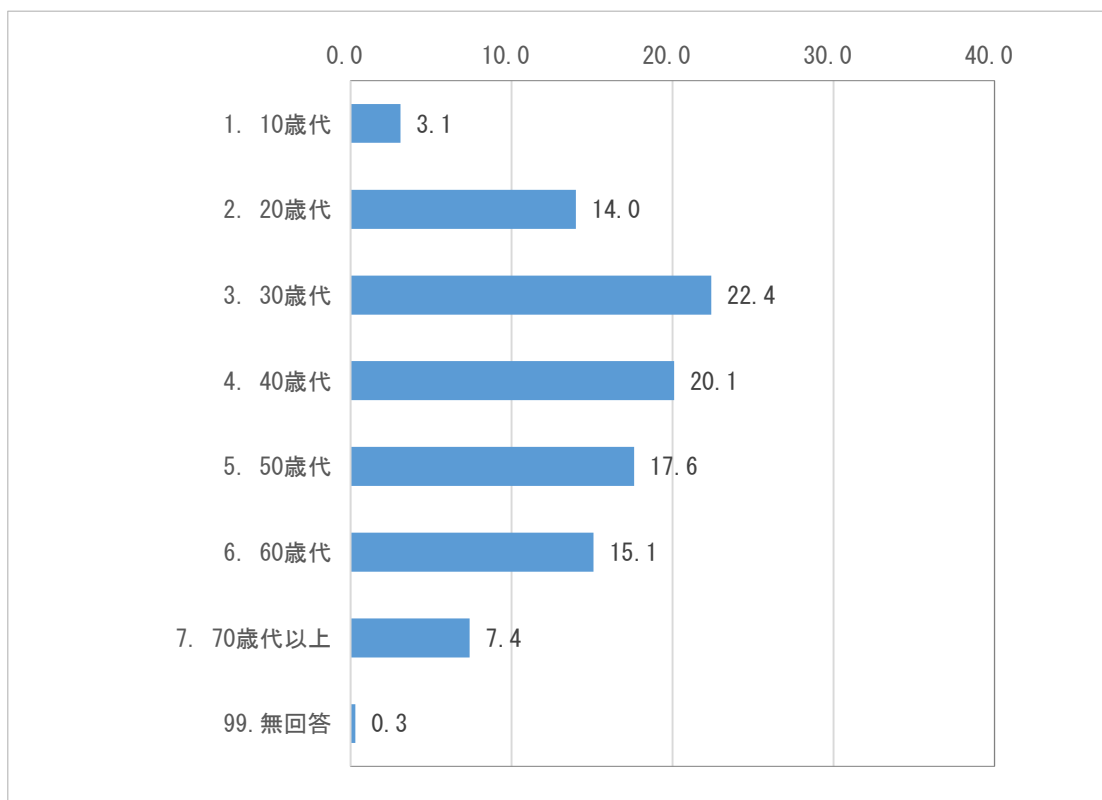
(1) 回答者の属性

●問1 性別



性別については、「男性」は43.4%、「女性」は55.1%と、男性より女性の割合が高くなっている。

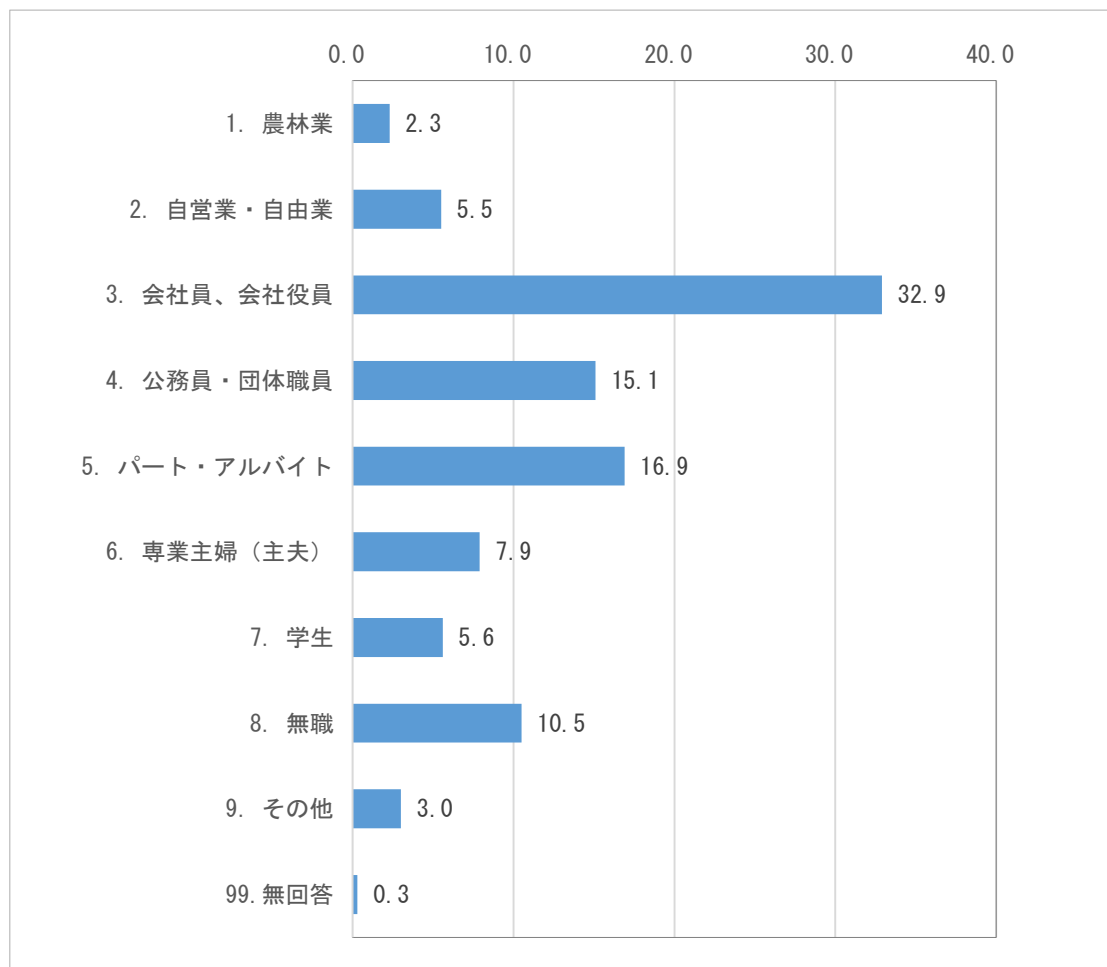
●問2 年代



年代については、「30歳代」が22.4%と最も高く、次いで「40歳代」(20.1%)、「50歳代」(17.6%)、「60歳代」(15.1%)、「20歳代」(14.0%)、「70歳代以上」(7.4%)、「10歳代」(3.1%)の順になっている。

2 調査の結果

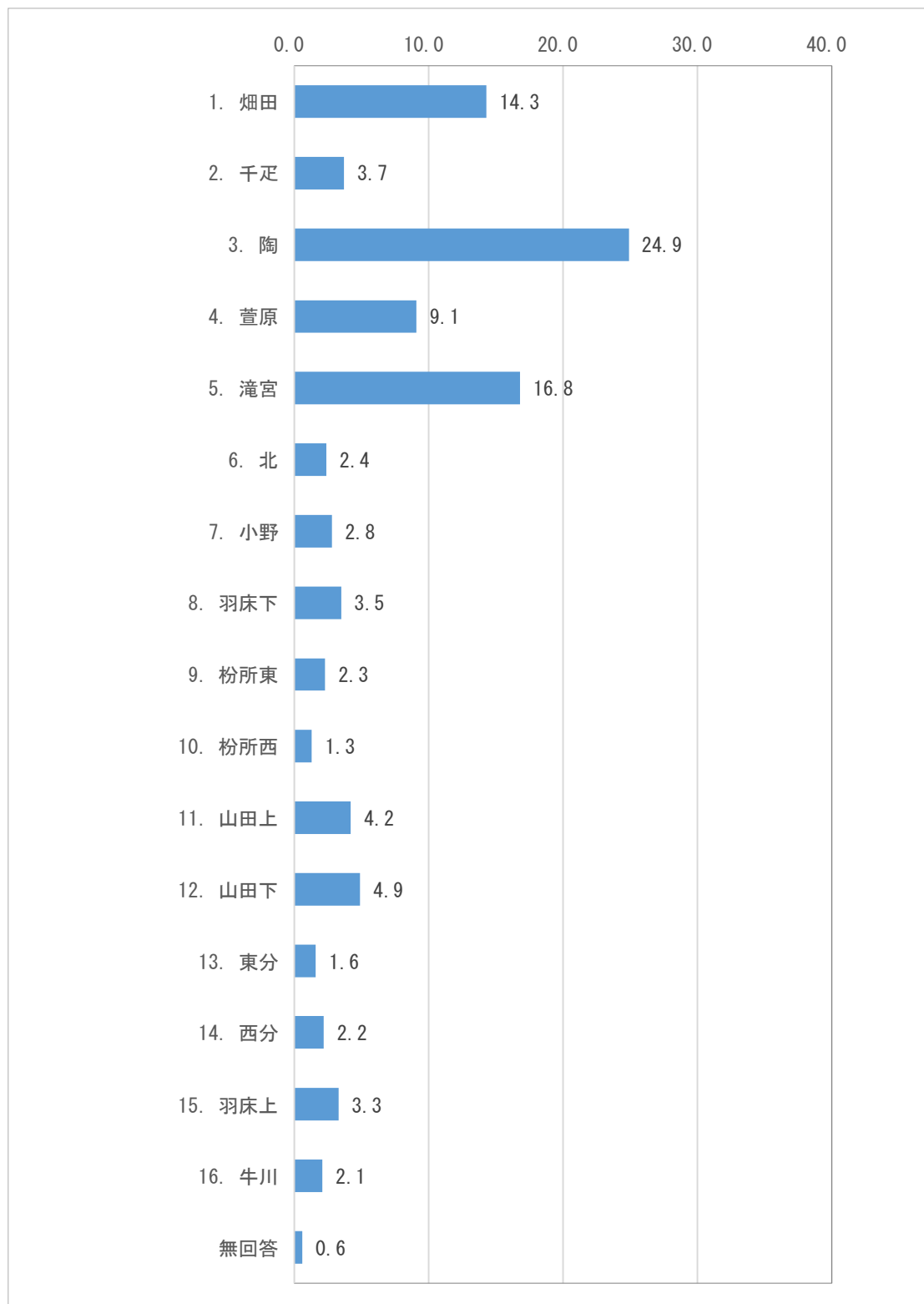
●問3 職業



職業については、「会社員、会社役員」が 32.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」(16.9%)、「公務員・団体職員」(15.1%)、「無職」(10.5%)、「専業主婦（主夫）」(7.9%)、「学生」(5.6%)、「自営業・自由業」(5.5%)、「その他」(3.0%)、「農林業」(2.3%)の順になっている。

2 調査の結果

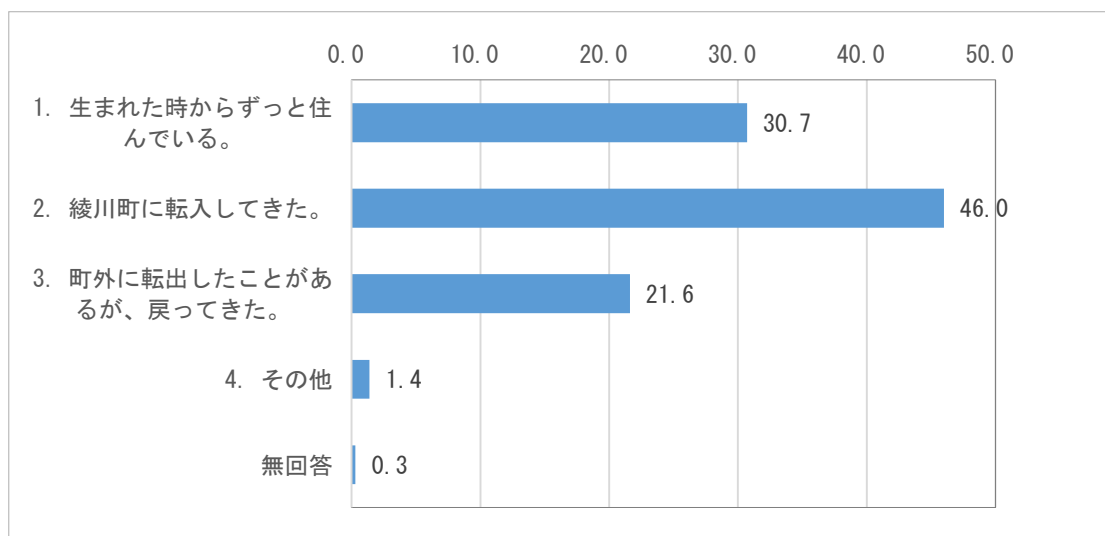
●問4 居住地



居住地については、「陶」が24.9%と最も高く、次いで「滝宮」(16.8%)、「畑田」(14.3%)、「萱原」(9.1%)、「山田下」(4.9%)、「山田上」(4.2%)、「千疋」(3.7%)の順になっている。

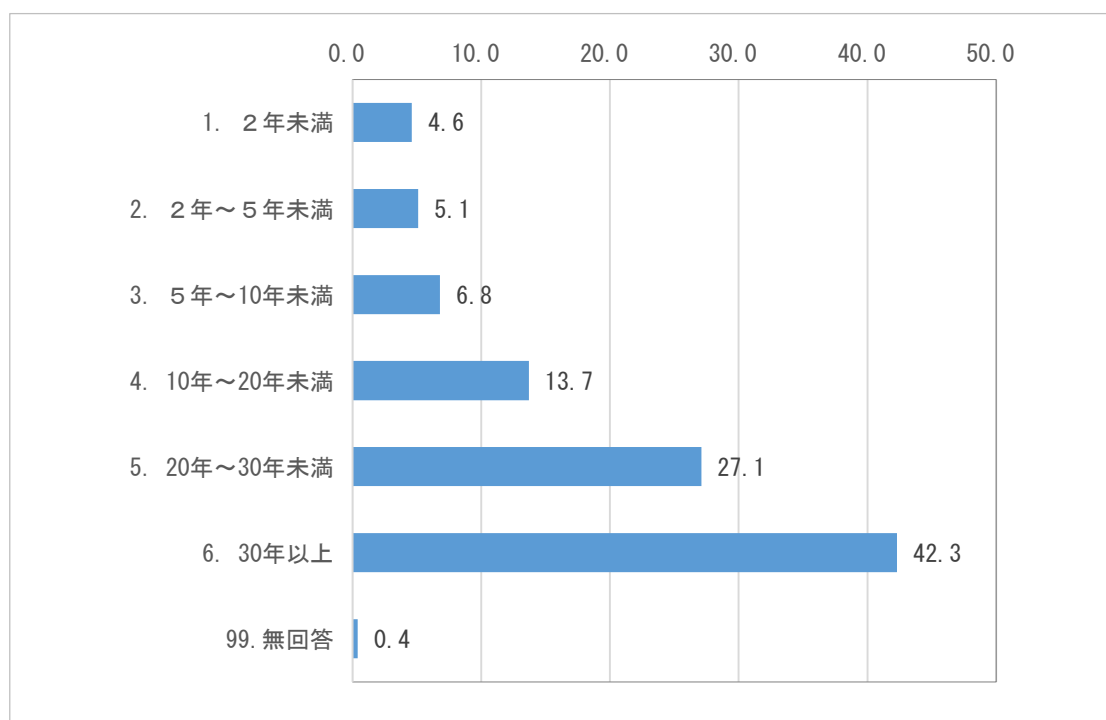
2 調査の結果

●問5 居住歴



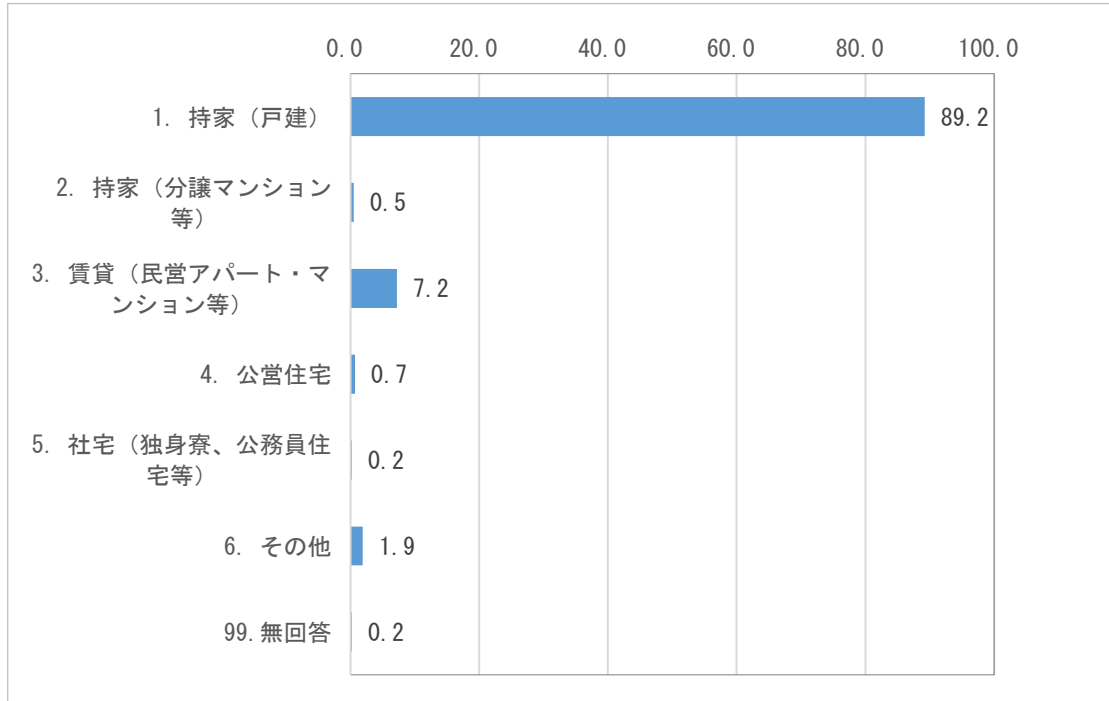
居住歴については、「綾川町に転入してきた。」が46.0%と5割を占めており、次いで「生まれた時からずっと住んでいる。」(30.7%)、「町外に転出したことがあるが、戻ってきた。」(21.6%)の順になっている。

●問6 居住期間



居住期間については、「30年以上」が42.3%と4割以上を占めており、次いで「20年～30年未満」(27.1%)、「10年～20年未満」(13.7%)、「5年～10年未満」(6.8%)、「2年～5年未満」(5.1%)、「2年未満」(4.6%)の順になっている。

●問7 住宅の形態



住宅の形態については、「持家 (戸建)」が 89.2%と最も高く、次いで「賃貸 (民営アパート・マンション等)」(7.2%)、「その他」(1.9%)、「公営住宅」(0.7%)、「持家 (分譲マンション等)」(0.5%)、「社宅 (独身寮、公務員住宅等)」(0.2%) の順になっている。

(2) まちづくりに対する評価と期待について

問8 現在お住まいの地域の「暮らしやすさ」「安全・安心」「ゆとり・うるおい」「コミュニティ」について、『現状の満足度』と『将来に向けた重要度』それぞれにお答えください。
※それぞれ該当する番号に「1つだけ○印」をつけてください。

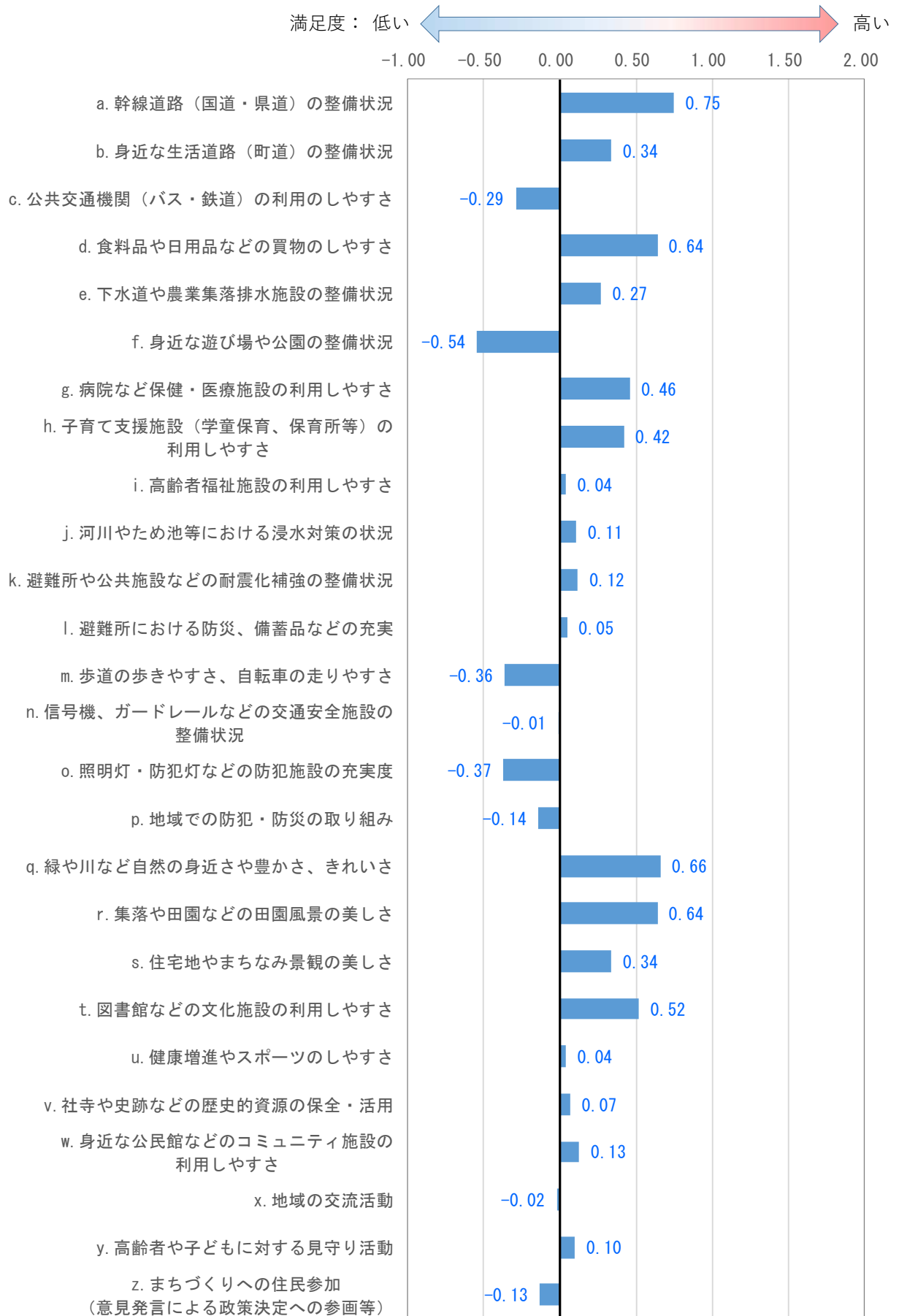
《① 現状の満足度の評価点》については、「a. 幹線道路（国道・県道）の整備状況」（0.75）（「暮らしやすさ」について）が最も高く、次いで「q. 緑や川など自然の身近さや豊かさ、きれいさ」（0.66）（「ゆとり・うるおい」について）、「d. 食料品や日用品などの買物のしやすさ」（0.64）（「暮らしやすさ」について）、「r. 集落や田園などの田園風景の美しさ」（0.64）（「ゆとり・うるおい」について）、「t. 図書館などの文化施設の利用しやすさ」（0.52）（「コミュニティ」について）、「g. 病院など保健・医療施設の利用しやすさ」（0.46）（「暮らしやすさ」について）が続いている。

《② 将来の重要度の評価点》については、「g. 病院など保健・医療施設の利用しやすさ」（1.53）（「暮らしやすさ」について）が最も高く、次いで「d. 食料品や日用品などの買物のしやすさ」（1.46）（「暮らしやすさ」について）、「l. 避難所における防災、備蓄品などの充実」（1.42）（「安心・安全」について）、「o. 照明灯・防犯灯などの防犯施設の充実度」（1.41）（「安心・安全」について）が続いている。「暮らしやすさ」、「安心・安全」についての項目で、比較的重要度が高い傾向となっている。

《③ 評価分析》については、A（重点改善分野）やB（重点維持分野）に分類されている項目が多数ある。特に、A（重点改善分野）に分類される「公共交通機関（バス・鉄道）の利用のしやすさ」「照明灯・防犯灯などの防犯施設の充実度」「歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ」「避難所における防災、備蓄品などの充実」等は、重点的取り組みが必要だと考えられる。

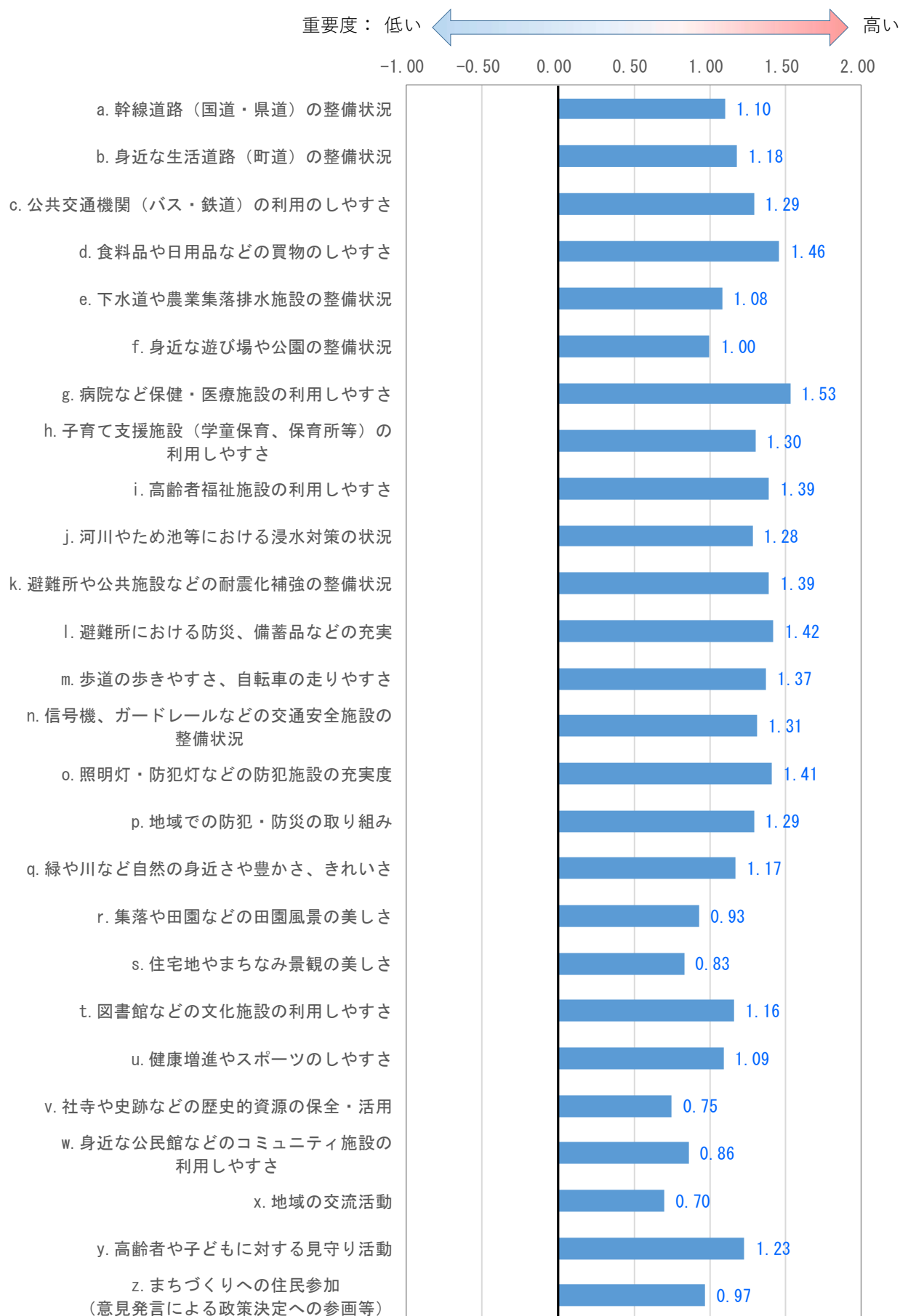
2 調査の結果

《① 現状の満足度の評価点》



2 調査の結果

《② 将来の重要度の評価点》



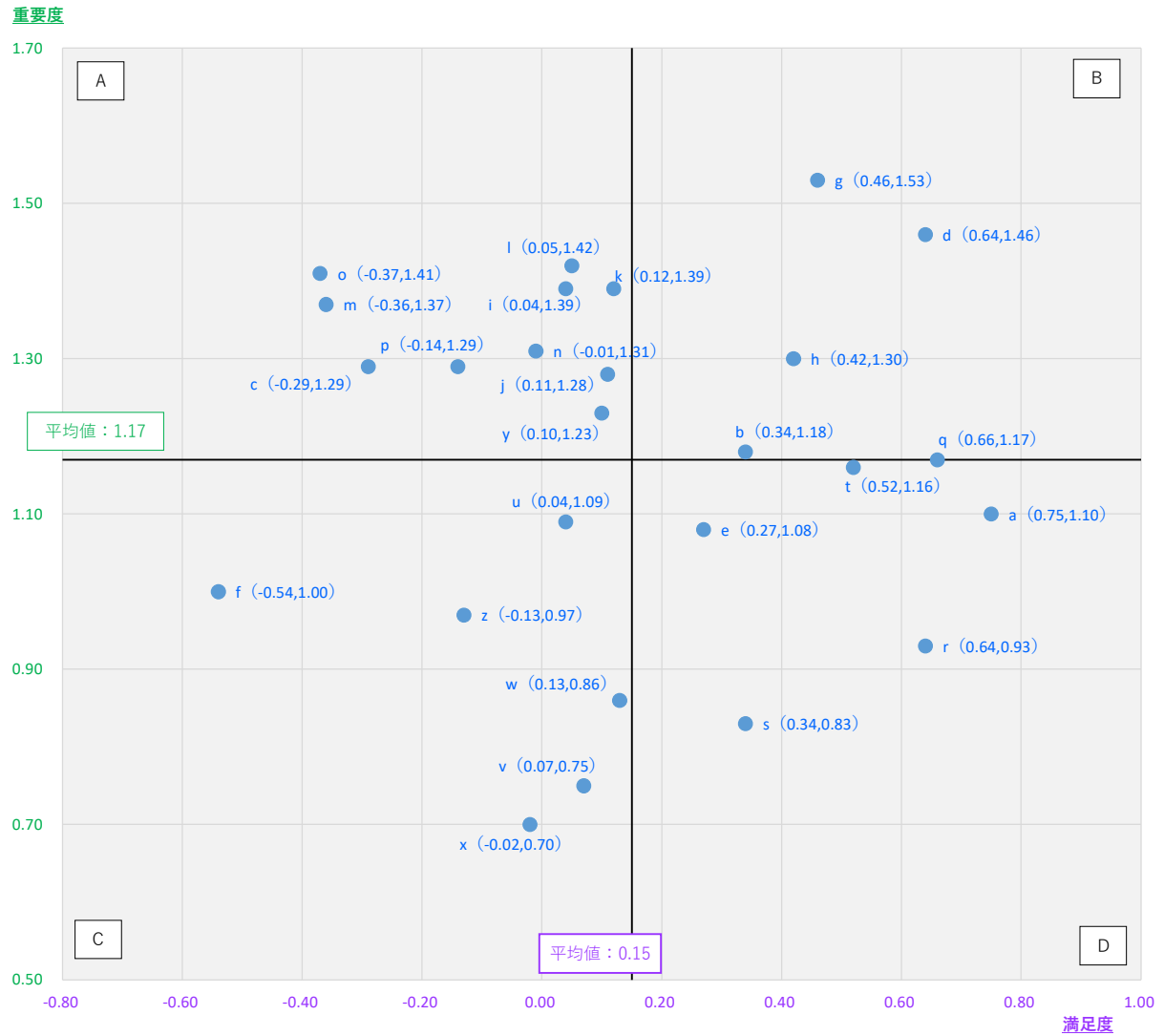
《③ 評価分析》

「現状の満足度」を横軸に、「将来に向けた重要度」を縦軸とし、各項目を評価点により表に落とすと下図のとおりとなり、AからDの4つの分野に大別することができる。

A：重点改善分野	B：重点維持分野
<p>満足度が低く、将来に向けた重要度は高いとする意見が多い分野である。該当する項目への重点的取組みにより、町民の満足度を高めることが強く求められている。</p> <p>c. 公共交通機関（バス・鉄道）の利用のしやすさ</p> <p>i. 高齢者福祉施設の利用しやすさ</p> <p>j. 河川やため池等における浸水対策の状況</p> <p>k. 避難所や公共施設などの耐震化補強の整備状況</p> <p>l. 避難所における防災、備蓄品などの充実</p> <p>m. 歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ</p> <p>n. 信号機、ガードレールなどの交通安全施設の整備状況</p> <p>o. 照明灯・防犯灯などの防犯施設の充実度</p> <p>p. 地域での防犯・防災の取り組み</p> <p>y. 高齢者や子どもに対する見守り活動</p>	<p>満足度、重要度ともに高いとする意見が多い分野である。重点分野として、今後も現在のサービス水準を維持していくことが強く求められている。</p> <p>b. 身近な生活道路（町道）の整備状況</p> <p>d. 食料品や日用品などの買物のしやすさ</p> <p>g. 病院など保健・医療施設の利用しやすさ</p> <p>h. 子育て支援施設（学童保育、保育所等）の利用しやすさ</p> <p>q. 緑や川など自然の身近さや豊かさ、きれいさ</p>
C：改善分野	D：維持分野
<p>満足度、重要度ともに低いとする意見が多い分野である。実施方法の改善や町民への周知などにより、できるだけ満足度を高めることが求められている。</p> <p>f. 身近な遊び場や公園の整備状況</p> <p>u. 健康増進やスポーツのしやすさ</p> <p>v. 社寺や史跡などの歴史的資源の保全・活用</p> <p>w. 身近な公民館などのコミュニティ施設の利用しやすさ</p> <p>x. 地域の交流活動</p> <p>z. まちづくりへの住民参加（意見発言による政策決定への参画等）</p>	<p>満足度は高いが、今後の重要度は低いとする意見が多い分野である。できるだけサービス水準の維持に努めながらも、社会情勢や町の実情に見合った取組みが求められている。</p> <p>a. 幹線道路（国道・県道）の整備状況</p> <p>e. 下水道や農業集落排水施設の整備状況</p> <p>r. 集落や田園などの田園風景の美しさ</p> <p>s. 住宅地やまちなみ景観の美しさ</p> <p>t. 図書館などの文化施設の利用しやすさ</p>

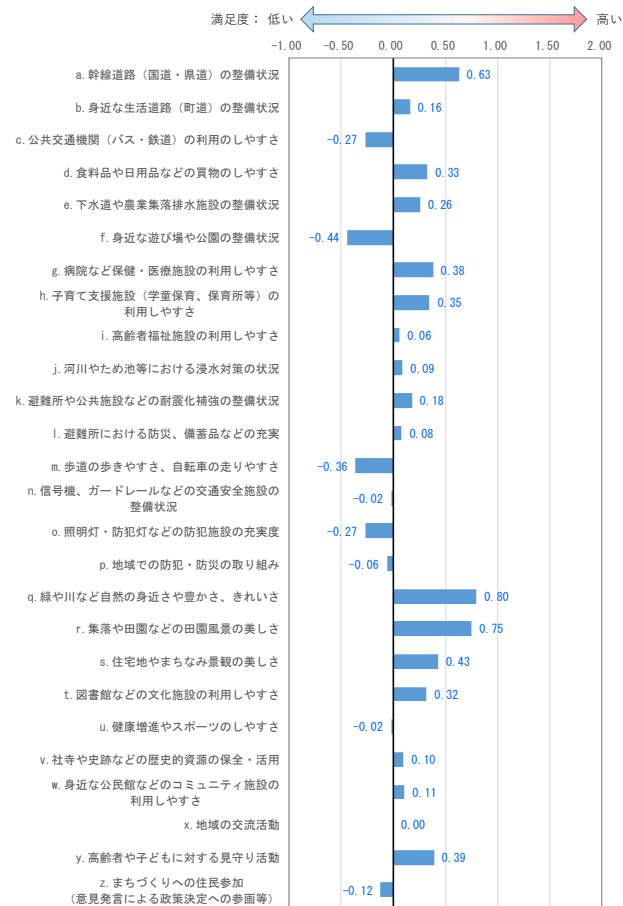
2 調査の結果

《④ 分布図》

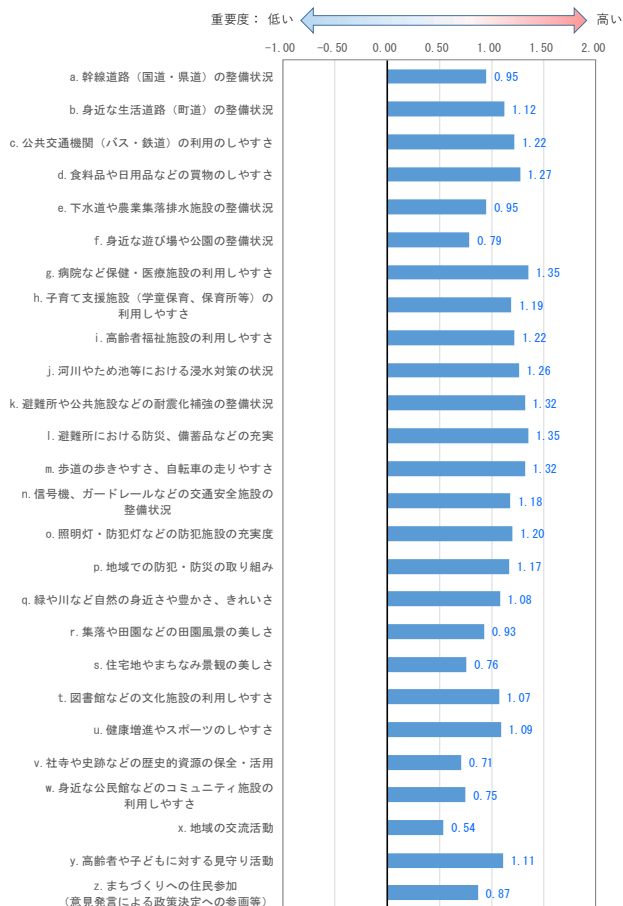


2 調査の結果

【昭和地域 現状の満足度の評価点】

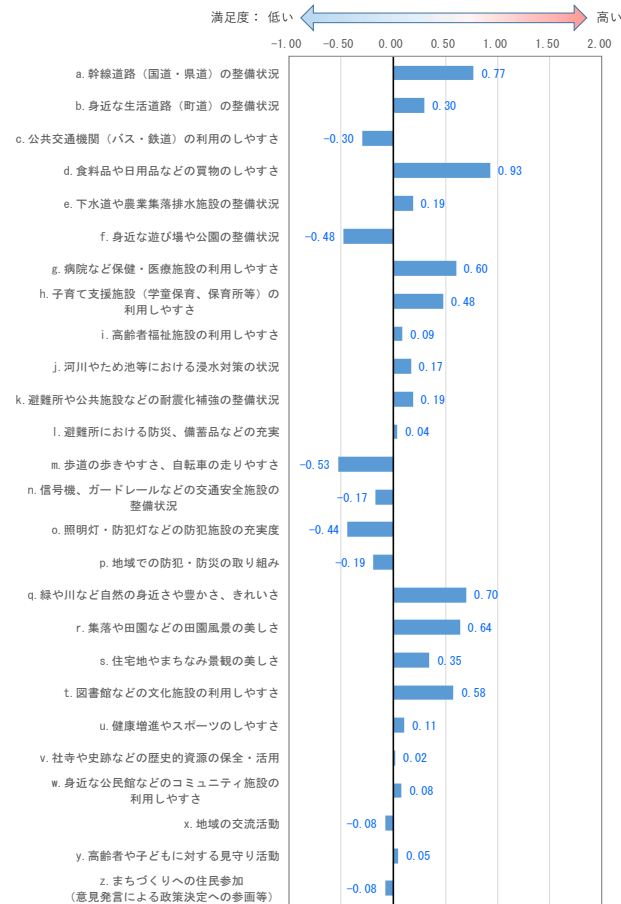


【昭和地域 将来の重要度の評価点】

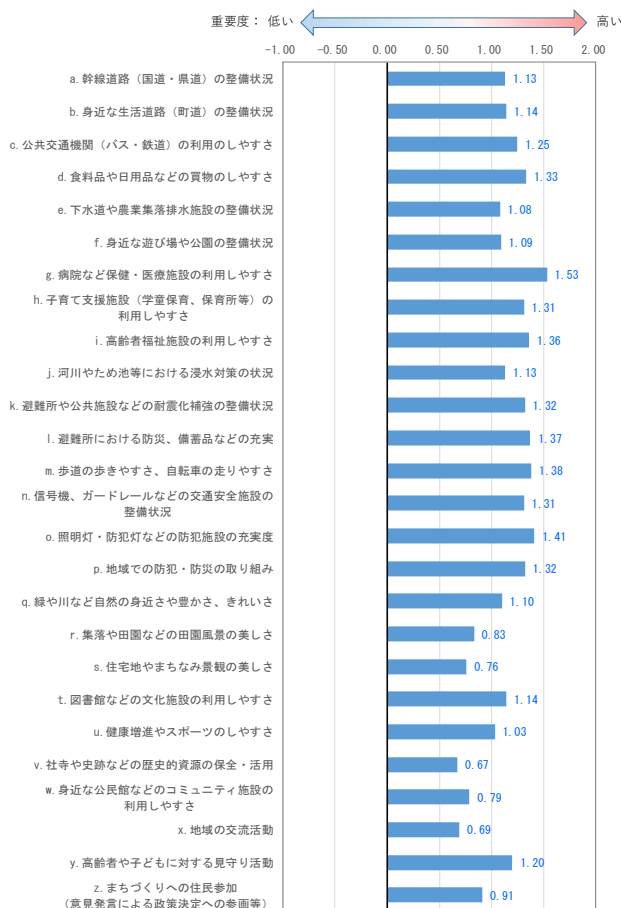


2 調査の結果

【陶地域 現状の満足度の評価点】

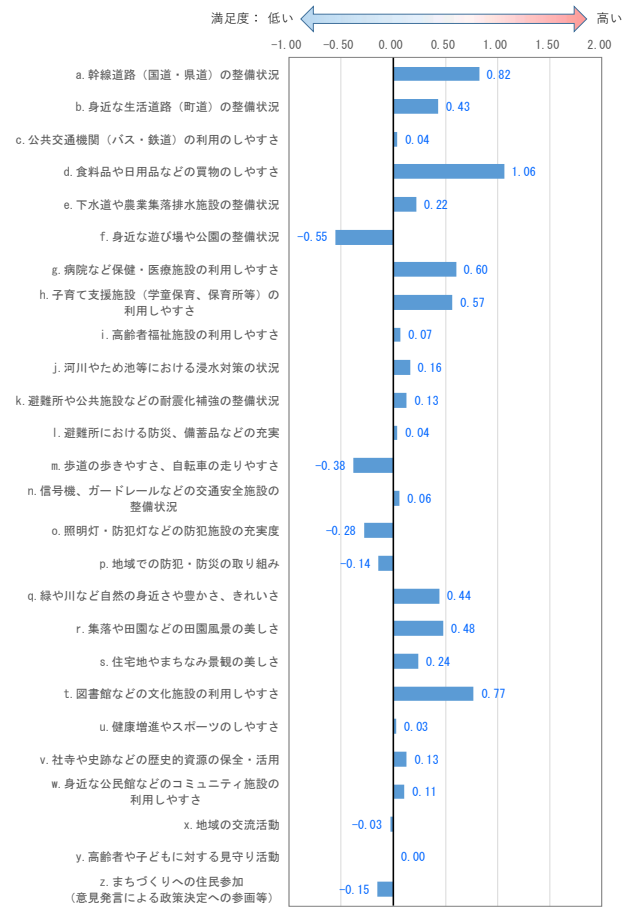


【陶地域 将来の重要度の評価点】

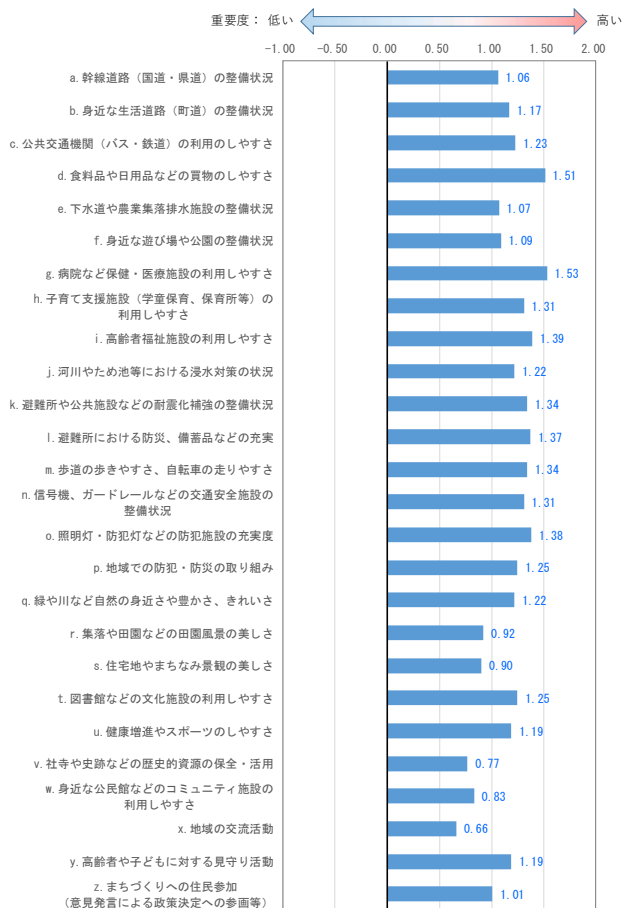


2 調査の結果

【滝宮地域 現状の満足度の評価点】

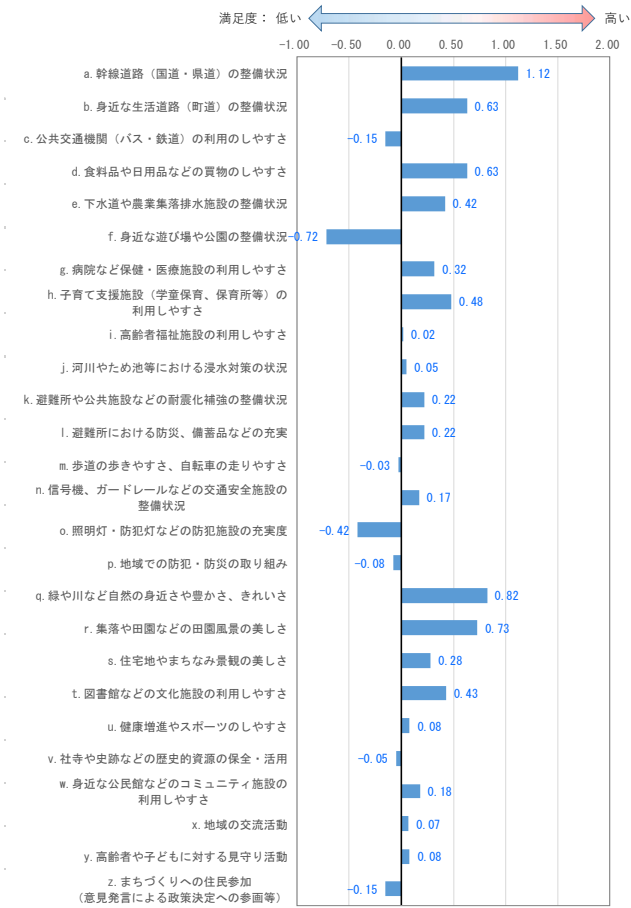


【滝宮地域 将来の重要度の評価点】

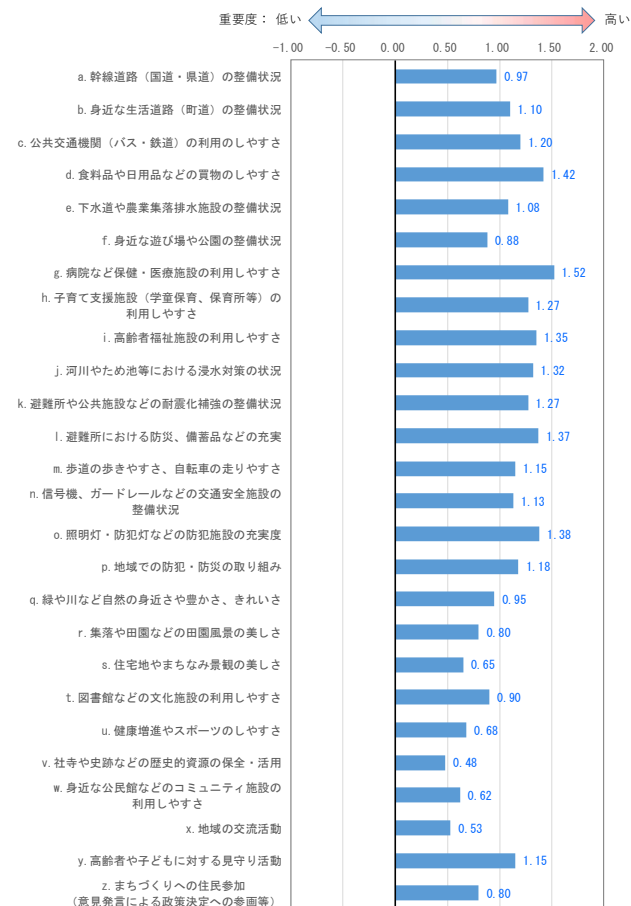


2 調査の結果

【羽床地域 現状の満足度の評価点】

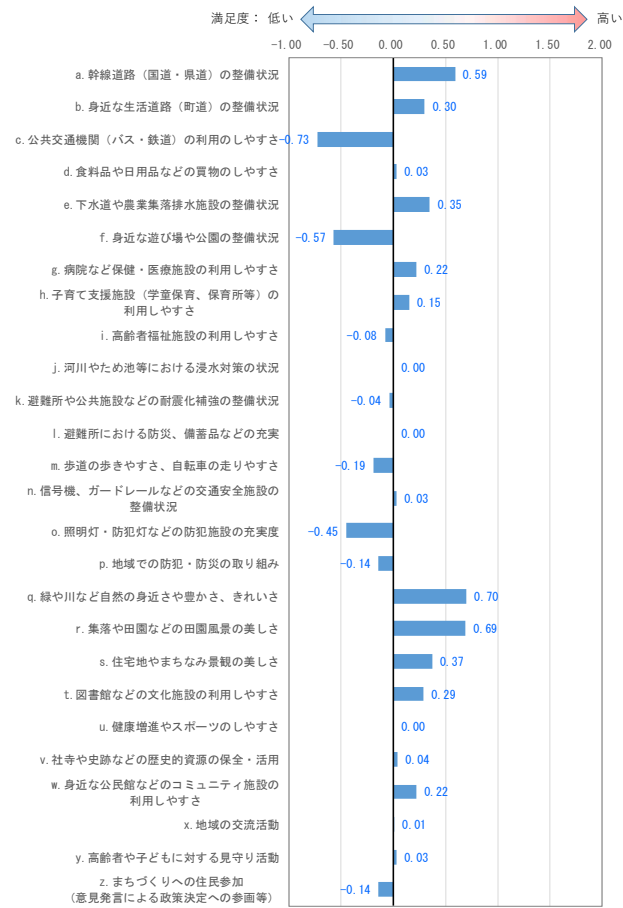


【羽床地域 将来の重要度の評価点】

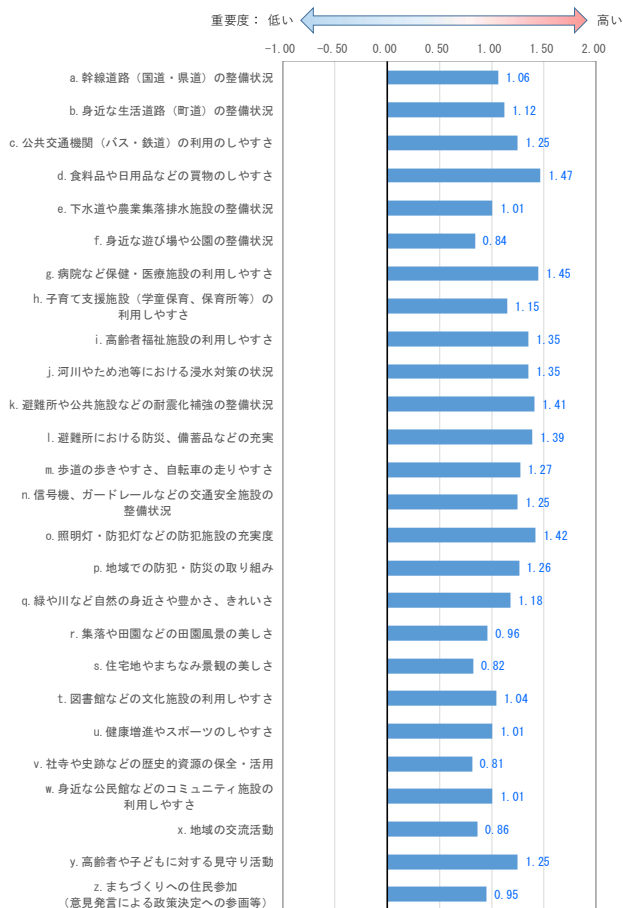


2 調査の結果

【綾上地域 現状の満足度の評価点】



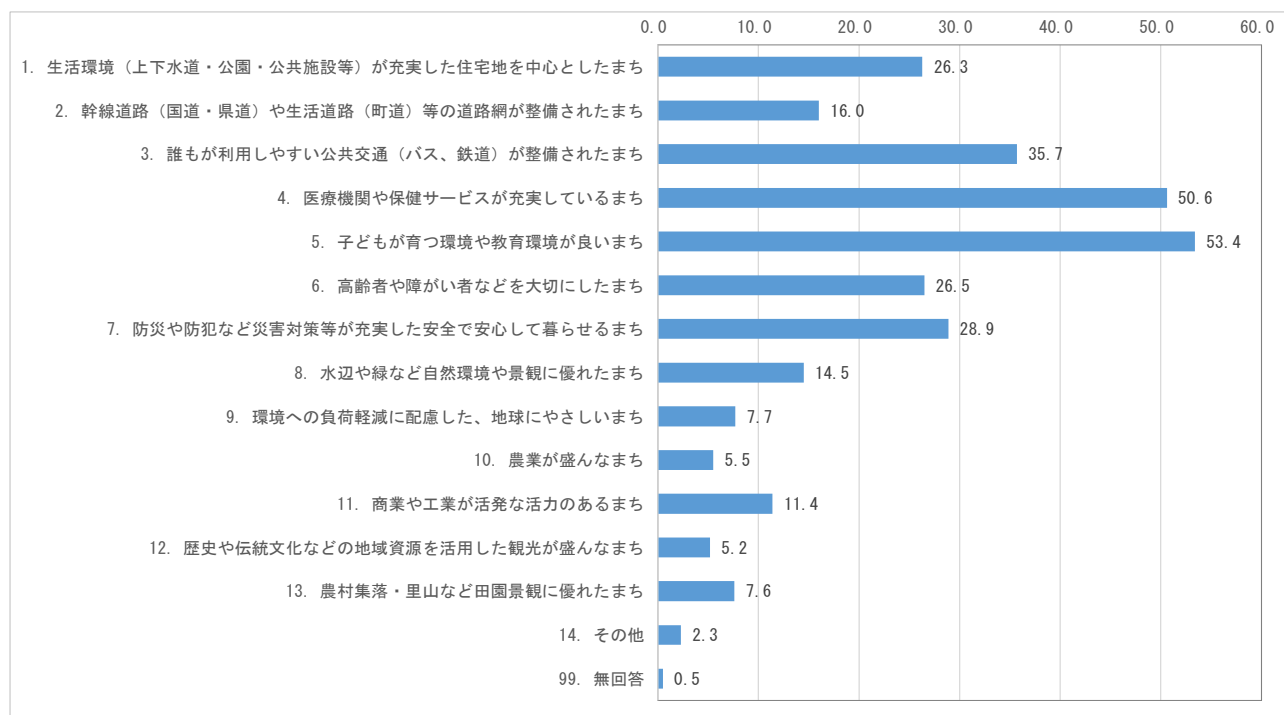
【綾上地域 将来の重要度の評価点】



(3) 綾川町の将来像について

問9 あなたは、綾川町が将来どのようなまちになってほしいと思いますか。あなたのイメージに最も近いものを選んでください。 ※○は3つまで

【全体 n=948】



綾川町が将来どのようなまちになってほしいかについては、「5. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」の割合が53.4%と最も高くなっており、次いで「4. 医療機関や保健サービスが充実しているまち」（50.6%）、「3. 誰もが利用しやすい公共交通（バス、鉄道）が整備されたまち」（35.7%）、「7. 防災や防犯など災害対策等が充実した安全で安心して暮らせるまち」（28.9%）の順になっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、20歳代、30歳代は「5. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」の割合が約7割と高くなっている。

職業別にみると、農林業は「2. 幹線道路（国道・県道）や生活道路（町道）等の道路網が整備されたまち」が40.9%、「10. 農業が盛んなまち」が31.8%と他の職業より高くなっている。

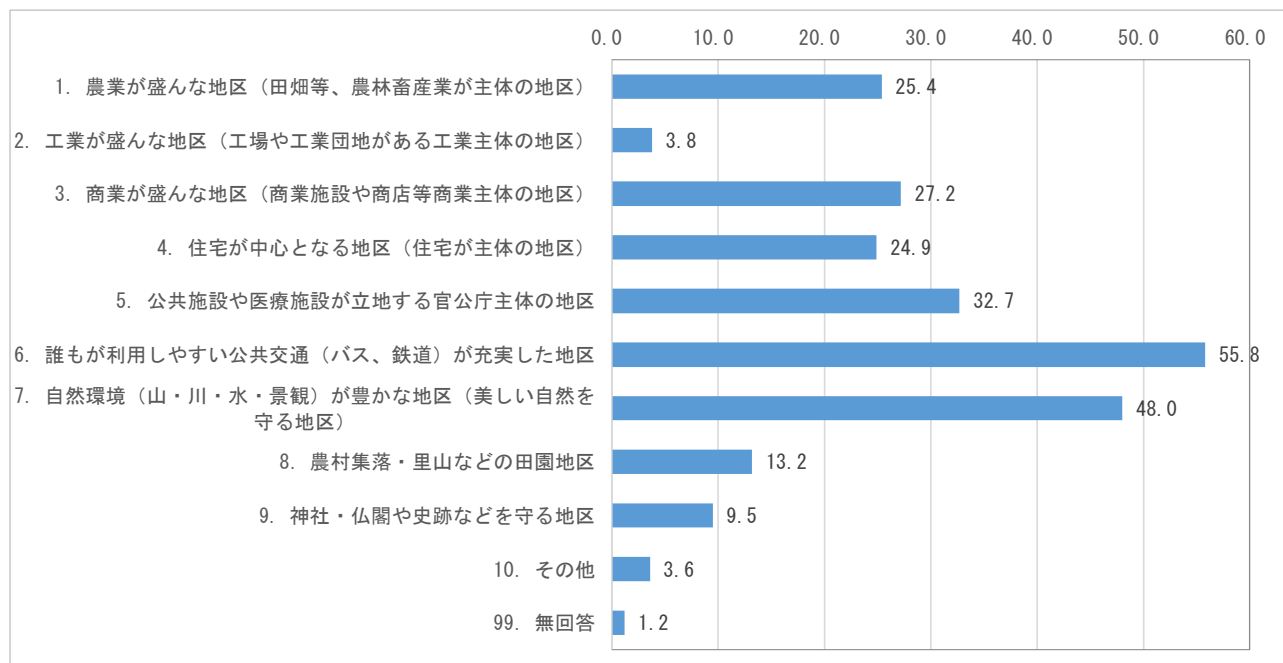
居住地域別でみると、「1. 生活環境（上下水道・公園・公共施設等）が充実した住宅地を中心としたまち」の割合は、綾南地域では約3割なのに対し、綾上地域では1～2割程度と低く、「3. 誰もが利用しやすい公共交通（バス、鉄道）が整備されたまち」の割合は、綾上地域が綾南地域よりわずかに高くなっている。

居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

居住年数別にみると、2年未満、2年～5年未満は「5. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」の割合が、それぞれ72.7%、83.3%と高くなっている。

問 10 あなたがお住まいの地区は、今後どうあるべきとお考えですか？ あなたの考えに近いものを選んでください。※〇は3つまで

【全体 n=948】



お住まいの地区が、今後どうあるべきかについては、「6. 誰もが利用しやすい公共交通（バス、鉄道）が充実した地区」の割合が55.8%と最も高くなっており、次いで「7. 自然環境（山・川・水・景観）が豊かな地区（美しい自然を守る地区）」（48.0%）、「5. 公共施設や医療施設が立地する官公庁主体の地区」（32.7%）と続いている。

「その他」には、「移住者を受け入れる地区」、「女性も働きやすい地区」等の意見があった。性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、10歳代は「3. 商業が盛んな地区（商業施設や商店等商業主体の地区）」、40歳代以上は「6. 誰もが利用しやすい公共交通（バス、鉄道）が充実した地区」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

職業別にみると、農林業は「1. 農業が盛んな地区（田畑等、農林畜産業が主体の地区）」や「8. 農村集落・里山などの田園地区」の割合が他の職業に比べて高くなっている。

居住地域別でみると、陶、萱原、滝宮で「3. 商業が盛んな地区（商業施設や商店等商業主体の地区）」の割合が高くなっている。綾上地域は「6. 誰もが利用しやすい公共交通（バス、鉄道）が充実した地区」「7. 自然環境（山・川・水・景観）が豊かな地区（美しい自然を守る地区）」「8. 農村集落・里山などの田園地区」の割合が、他の地域と比べて高くなっている。

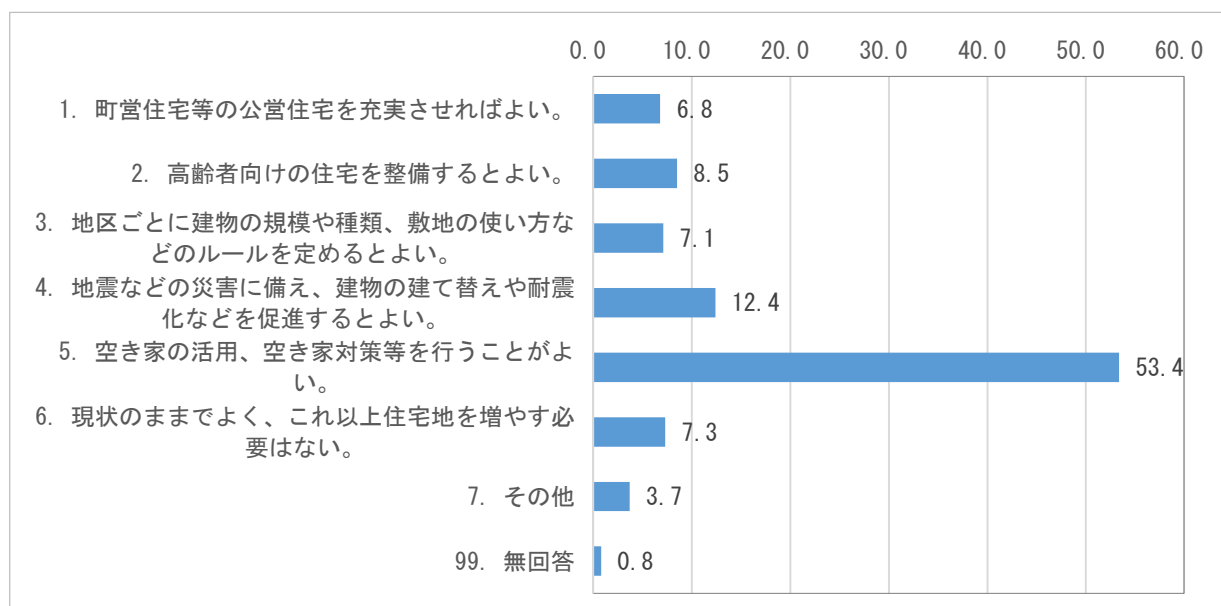
居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

居住年数別にみると、特に大きな差はみられない。

(4) まちづくりの方向性について

問 11 定住化の受け皿となる住宅地の確保について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。※○は1つだけ

【全体 n=948】



定住化の受け皿となる住宅地の確保についての考えでは、「5. 空き家の活用、空き家対策等を行うことがよい。」の割合が 53.4%と半数以上を占めており、次いで「4. 地震などの災害に備え、建物の建て替えや耐震化などを促進するとよい。」(12.4%)、「2. 高齢者向けの住宅を整備するとよい。」(8.5%)となっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、20歳代未満は他の年代に比べて「4. 地震などの災害に備え、建物の建て替えや耐震化などを促進するとよい。」の割合が高くなっている。「2. 高齢者向けの住宅を整備するとよい。」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。

職業別にみると、農林業は「1. 町営住宅等の公営住宅を充実させればよい。」、「4. 地震などの災害に備え、建物の建て替えや耐震化などを促進するとよい。」の割合が他の職業と比べて高くなっている。会社員・会社役員及び公務員・団体職員は「3. 地区ごとに建物の規模や種類、敷地の使い方などのルールを定めるとよい。」の割合が他の職業と比べて高くなっている。

居住地域別でみると、滝宮地域は他の地域と比べて「4. 地震などの災害に備え、建物の建て替えや耐震化などを促進するとよい。」の割合が高く、「5. 空き家の活用、空き家対策等を行うことがよい。」の割合が低くなっている。

居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

居住年数別にみると、2年未満は「3. 地区ごとに建物の規模や種類、敷地の使い方などのルールを定めるとよい。」の割合が高くなっている。

2 調査の結果

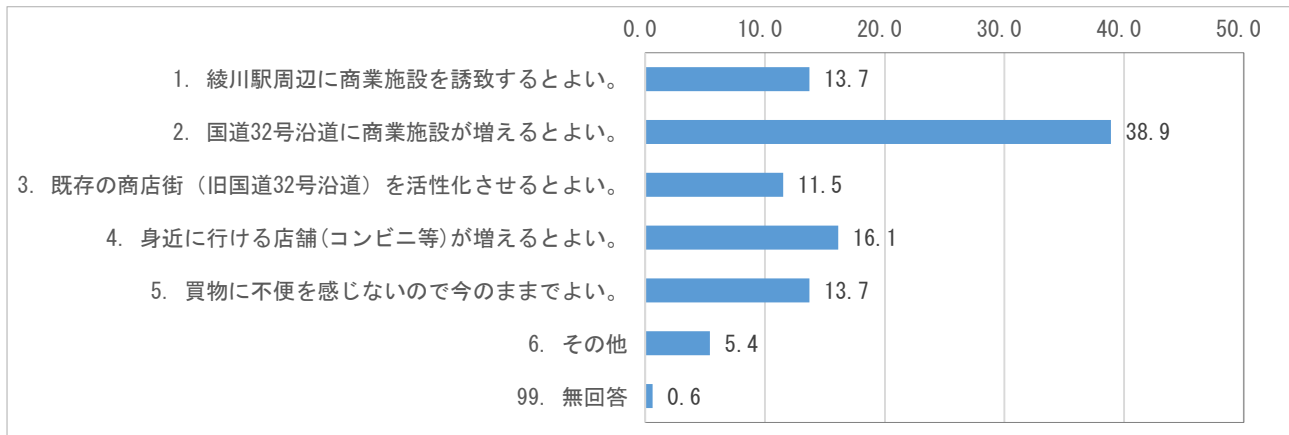
【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)	回答者数(人)	1	2	3	4	5	6	7	99
		を町 営住宅 等の公 営住宅 を充 実させ ればよ い。	備高 齢者 向けの 住宅を 整	地区 ごと に建 物の規 模 や種 類、敷 地の使 い方を 定める とよい。	地震 などの 災害に 備え、 建物の 建て替 えや耐 震化な どを促 進する とよい。	空き 家の活 用、空 家家 屋など の活用 を促進 すること がよい。	現状 のまま でよく、 必要に 応じて 住宅地 を増やす こと	その 他	無 回答
全体	948 100.0%	64 6.8%	81 8.5%	67 7.1%	118 12.4%	506 53.4%	69 7.3%	35 3.7%	8 0.8%
性別									
男性	411 100.0%	22 5.4%	31 7.5%	42 10.2%	58 14.1%	197 47.9%	38 9.2%	18 4.4%	5 1.2%
女性	522 100.0%	41 7.9%	48 9.2%	23 4.4%	59 11.3%	305 58.4%	30 5.7%	13 2.5%	3 0.6%
年代別									
10歳代	29 100.0%	3 10.3%	1 3.4%	0 0.0%	5 17.2%	17 58.6%	2 6.9%	1 3.4%	0 0.0%
20歳代	133 100.0%	8 6.0%	6 4.5%	11 8.3%	29 21.8%	73 54.9%	3 2.3%	3 2.3%	0 0.0%
30歳代	212 100.0%	17 8.0%	15 7.1%	16 7.5%	26 12.3%	114 53.8%	9 4.2%	12 5.7%	3 1.4%
40歳代	191 100.0%	13 6.8%	20 10.5%	12 6.3%	18 9.4%	96 50.3%	25 13.1%	7 3.7%	0 0.0%
50歳代	167 100.0%	11 6.6%	15 9.0%	16 9.6%	15 9.0%	91 54.5%	12 7.2%	5 3.0%	2 1.2%
60歳代	143 100.0%	7 4.9%	14 9.8%	11 7.7%	16 11.2%	78 54.5%	12 8.4%	5 3.5%	0 0.0%
70歳以上	70 100.0%	4 5.7%	9 12.9%	1 1.4%	9 12.9%	37 52.9%	5 7.1%	2 2.9%	3 4.3%
職業別									
農林業	22 100.0%	3 13.6%	2 9.1%	0 0.0%	4 18.2%	10 45.5%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%
自営業・自由業	52 100.0%	4 7.7%	3 5.8%	4 7.7%	3 5.8%	29 55.8%	3 5.8%	4 7.7%	2 3.8%
会社員、会社役員	312 100.0%	17 5.4%	31 9.9%	31 9.9%	45 14.4%	150 48.1%	21 6.7%	14 4.5%	3 1.0%
公務員・団体職員	143 100.0%	6 4.2%	8 5.6%	17 11.9%	12 8.4%	83 58.0%	10 7.0%	7 4.9%	0 0.0%
パート・アルバイト	160 100.0%	11 6.9%	17 10.6%	5 3.1%	16 10.0%	92 57.5%	15 9.4%	4 2.5%	0 0.0%
専業主婦(主夫)	75 100.0%	6 8.0%	5 6.7%	3 4.0%	8 10.7%	45 60.0%	6 8.0%	1 1.3%	1 1.3%
学生	53 100.0%	7 13.2%	0 0.0%	3 5.7%	3 13.2%	33 62.3%	2 3.8%	1 1.9%	0 0.0%
無職	100 100.0%	5 5.0%	12 12.0%	2 2.0%	17 17.0%	51 51.0%	9 9.0%	2 2.0%	2 2.0%
居住地域別									
畑田	136 100.0%	7 5.1%	10 7.4%	5 3.7%	14 10.3%	81 59.6%	7 5.1%	10 7.4%	2 1.5%
千疋	35 100.0%	3 8.6%	3 8.6%	2 5.7%	2 5.7%	19 54.3%	6 17.1%	0 0.0%	0 0.0%
陶	236 100.0%	16 6.8%	25 10.6%	16 6.8%	25 10.6%	130 55.1%	18 7.6%	6 2.5%	0 0.0%
萱原	86 100.0%	8 9.3%	9 10.5%	7 8.1%	17 19.8%	30 34.9%	9 10.5%	4 4.7%	2 2.3%
滝宮	159 100.0%	14 8.8%	8 5.0%	13 8.2%	23 14.5%	84 52.8%	11 6.9%	5 3.1%	1 0.6%
北	23 100.0%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	4 17.4%	12 52.2%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%
小野	27 100.0%	0 0.0%	1 3.7%	2 7.4%	4 14.8%	19 70.4%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%
羽床下	33 100.0%	2 6.1%	4 12.1%	4 12.1%	3 9.1%	19 57.6%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%
粉所東	22 100.0%	0 0.0%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%	10 45.5%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%
粉所西	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
山田上	40 100.0%	3 7.5%	4 10.0%	2 5.0%	7 17.5%	21 52.5%	2 5.0%	1 2.5%	0 0.0%
山田下	46 100.0%	3 6.5%	2 4.3%	7 15.2%	6 13.0%	26 56.5%	1 2.2%	1 2.2%	0 0.0%
東分	15 100.0%	1 6.7%	5 33.3%	3 20.0%	3 6.7%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
西分	21 100.0%	3 14.3%	2 9.5%	0 0.0%	1 4.8%	9 42.9%	2 9.5%	2 9.5%	2 9.5%
羽床上	31 100.0%	1 3.2%	3 9.7%	3 9.7%	6 19.4%	14 45.2%	2 6.5%	2 6.5%	0 0.0%
牛川	20 100.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	16 80.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%
居住歴別									
生まれた時からずっと 住んでいる。	291 100.0%	19 6.5%	23 7.9%	19 6.5%	48 16.5%	149 51.2%	20 6.9%	11 3.8%	2 0.7%
綾川町に転入してき た。	436 100.0%	32 7.3%	35 8.0%	27 6.2%	42 9.6%	250 57.3%	32 7.3%	14 3.2%	4 0.9%
町外に転出したことが あるが、戻ってきた。	205 100.0%	11 5.4%	22 10.7%	19 9.3%	27 13.2%	102 49.8%	13 6.3%	10 4.9%	1 0.5%
居住年数別									
2年未満	44 100.0%	1 2.3%	0 0.0%	6 13.6%	5 11.4%	27 61.4%	3 6.8%	1 2.3%	1 2.3%
2年～5年未満	48 100.0%	3 6.3%	2 4.2%	1 2.1%	10 20.8%	28 58.3%	1 2.1%	3 6.3%	0 0.0%
5年～10年未満	64 100.0%	8 12.5%	4 6.3%	3 4.7%	6 9.4%	36 56.3%	3 4.7%	4 6.3%	0 0.0%
10年～20年未満	130 100.0%	10 7.7%	7 5.4%	9 6.9%	14 10.8%	74 56.9%	13 10.0%	3 2.3%	0 0.0%
20年～30年未満	257 100.0%	22 8.6%	26 10.1%	24 9.3%	28 10.9%	132 51.4%	13 5.1%	11 4.3%	1 0.4%
30年以上	401 100.0%	20 5.0%	41 10.2%	24 6.0%	54 13.5%	209 52.1%	35 8.7%	13 3.2%	5 1.2%
地域別構想									
昭和地域	171 100.0%	10 5.8%	13 7.6%	7 4.1%	16 9.4%	100 58.5%	13 7.6%	10 5.8%	2 1.2%
陶地域	236 100.0%	16 6.8%	25 10.6%	16 6.8%	25 10.6%	130 55.1%	18 7.6%	6 2.5%	0 0.0%
滝宮地域	268 100.0%	24 9.0%	19 7.1%	21 7.8%	44 16.4%	126 47.0%	21 7.8%	10 3.7%	3 1.1%
羽床地域	60 100.0%	2 3.3%	5 8.3%	6 10.0%	7 11.7%	38 63.3%	1 1.7%	1 1.7%	0 0.0%
綾上地域	207 100.0%	12 5.8%	18 8.7%	17 8.2%	25 12.1%	112 54.1%	14 6.8%	6 2.9%	3 1.4%

2 調査の結果

問 12 商業のあり方について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
※○は1つだけ

【全体 n=948】



商業のあり方についての考えでは、「2. 国道32号沿道に商業施設が増えるとよい。」の割合が38.9%と最も高く、次いで「4. 身近に行ける店舗(コンビニ等)が増えるとよい。」(16.1%)、「1. 綾川駅周辺に商業施設を誘致するとよい。」(13.7%)、「5. 買物に不便を感じないので今のままでよい。」(13.7%)、「3. 既存の商店街(旧国道32号沿道)を活性化させるとよい。」(11.5%)と続いている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、10～20歳代は「1. 綾川駅周辺に商業施設を誘致するとよい。」の割合が他の年代に比べて高くなっている。60歳代以上は「4. 身近に行ける店舗(コンビニ等)が増えるとよい。」の割合が他の年代に比べて高くなっている。30～50歳代は「2. 国道32号沿道に商業施設が増えるとよい。」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

職業別にみると、学生は「1. 綾川駅周辺に商業施設を誘致するとよい。」の割合が最も高い。農林業及び自営業・自由業は「3. 既存の商店街(旧国道32号沿道)を活性化させるとよい。」の割合が他の職業と比べて高くなっている。

居住地域別でみると、昭和地域及び綾上地域では、「4. 身近に行ける店舗(コンビニ等)が増えるとよい。」の割合が他の地域と比べて高くなっている。陶地域、滝宮地域は「5. 買物に不便を感じないので今のままでよい。」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

居住年数別にみると、30年以上住んでいる方は、「4. 身近に行ける店舗(コンビニ等)が増えるとよい。」の割合が高くなっている。

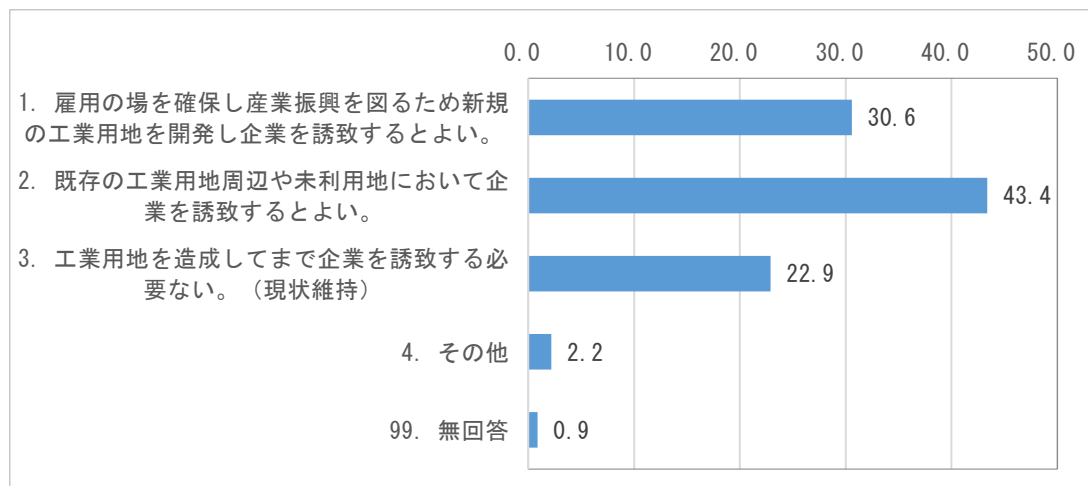
2 調査の結果

【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)		1 綾川駅周辺に商業施設を誘致するとよい。	2 国道32号沿道に商業施設が増えるとよい。	3 既存の商店街(旧国道32号沿道)を活性化させるとよい。	4 身近に行ける店舗(コンビニ等)が増えるとよい。	5 買物に不便を感じないので今のままでよい。	6 その他	99 無回答	
全体	948 100.0%	130 13.7%	369 38.9%	109 11.5%	153 16.1%	130 13.7%	51 5.4%	6 0.6%	
性別	男性	411 100.0%	64 15.6%	161 39.2%	44 10.7%	62 15.1%	52 12.7%	23 5.6%	5 1.2%
	女性	522 100.0%	65 12.5%	202 38.7%	64 12.3%	86 16.5%	77 14.8%	27 5.2%	1 0.2%
年代別	10歳代	29 100.0%	6 20.7%	6 20.7%	5 17.2%	5 17.2%	5 17.2%	2 6.9%	0 0.0%
	20歳代	133 100.0%	37 27.8%	50 37.6%	14 10.5%	15 11.3%	12 9.0%	4 3.0%	1 0.8%
	30歳代	212 100.0%	25 11.8%	94 44.3%	25 11.8%	26 12.3%	33 15.6%	7 3.3%	2 0.9%
	40歳代	191 100.0%	20 10.5%	86 45.0%	23 12.0%	19 9.9%	25 13.1%	18 9.4%	0 0.0%
	50歳代	167 100.0%	16 9.6%	72 43.1%	18 10.8%	29 17.4%	22 13.2%	10 6.0%	0 0.0%
	60歳代	143 100.0%	19 13.3%	42 29.4%	17 11.9%	38 26.6%	21 14.7%	6 4.2%	0 0.0%
	70歳以上	70 100.0%	7 10.0%	18 25.7%	7 10.0%	19 27.1%	12 17.1%	4 5.7%	3 4.3%
職業別	農林業	22 100.0%	2 9.1%	6 27.3%	5 22.7%	3 13.6%	5 22.7%	1 4.5%	0 0.0%
	自営業・自由業	52 100.0%	6 11.5%	17 32.7%	11 21.2%	7 13.5%	8 15.4%	3 5.8%	0 0.0%
	会社員・会社役員	312 100.0%	44 14.1%	140 44.9%	27 8.7%	39 12.5%	44 14.1%	16 5.1%	2 0.6%
	公務員・団体職員	143 100.0%	22 15.4%	69 48.3%	16 11.2%	16 11.2%	12 8.4%	7 4.9%	1 0.7%
	パート・アルバイト	160 100.0%	14 8.8%	73 45.6%	18 11.3%	27 16.9%	19 11.9%	9 5.6%	0 0.0%
	専業主婦(主夫)	75 100.0%	6 8.0%	24 32.0%	10 13.3%	19 25.3%	13 17.3%	3 4.0%	0 0.0%
	学生	53 100.0%	19 35.8%	9 17.0%	9 17.0%	7 13.2%	5 9.4%	4 7.5%	0 0.0%
	無職	100 100.0%	15 15.0%	20 20.0%	11 11.0%	25 25.0%	20 20.0%	6 6.0%	3 3.0%
居住地域別	畑田	136 100.0%	6 4.4%	48 35.3%	28 20.6%	40 29.4%	6 4.4%	7 5.1%	1 0.7%
	千疋	35 100.0%	12 34.3%	4 11.4%	1 2.9%	14 40.0%	3 8.6%	1 2.9%	0 0.0%
	陶	236 100.0%	22 9.3%	116 49.2%	26 11.0%	14 5.9%	46 19.5%	10 4.2%	2 0.8%
	萱原	86 100.0%	16 18.6%	30 34.9%	8 9.3%	4 4.7%	19 22.1%	7 8.1%	2 2.3%
	滝宮	159 100.0%	29 18.2%	70 44.0%	15 9.4%	12 7.5%	26 16.4%	6 3.8%	1 0.6%
	北	23 100.0%	7 30.4%	6 26.1%	3 13.0%	3 13.0%	3 13.0%	1 4.3%	0 0.0%
	小野	27 100.0%	5 18.5%	11 40.7%	5 18.5%	1 3.7%	5 18.5%	0 0.0%	0 0.0%
	羽床下	33 100.0%	8 24.2%	18 54.5%	2 6.1%	0 0.0%	2 6.1%	3 9.1%	0 0.0%
	粉所東	22 100.0%	1 4.5%	4 18.2%	2 9.1%	2 59.1%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
	粉所西	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	2 16.7%	8 66.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
	山田上	40 100.0%	7 17.5%	11 27.5%	1 2.5%	16 40.0%	0 0.0%	5 12.5%	0 0.0%
	山田下	46 100.0%	4 8.7%	20 43.5%	6 13.0%	8 17.4%	4 8.7%	4 8.7%	0 0.0%
	東分	15 100.0%	1 6.7%	5 33.3%	0 0.0%	7 46.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%
	西分	21 100.0%	2 9.5%	7 33.3%	2 9.5%	3 14.3%	3 14.3%	4 19.0%	0 0.0%
	羽床上	31 100.0%	9 29.0%	7 22.6%	3 9.7%	5 16.1%	5 16.1%	2 6.5%	0 0.0%
	牛川	20 100.0%	1 5.0%	11 55.0%	3 15.0%	3 5.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%
居住歴別	生まれた時からずっと住んでいる。	291 100.0%	40 13.7%	101 34.7%	37 12.7%	45 15.5%	45 15.5%	21 7.2%	2 0.7%
	綾川町に転入してきた。	436 100.0%	51 11.7%	184 42.2%	43 9.9%	76 17.4%	62 14.2%	17 3.9%	3 0.7%
	町外に転出したことがあるが、戻ってきた。	205 100.0%	36 17.6%	79 38.5%	28 13.7%	29 14.1%	20 9.8%	13 6.3%	0 0.0%
	2年未満	44 100.0%	5 11.4%	17 38.6%	6 13.6%	6 13.6%	7 15.9%	3 6.8%	0 0.0%
2年～5年未満	48 100.0%	6 12.5%	23 47.9%	4 8.3%	4 8.3%	8 16.7%	2 4.2%	1 2.1%	
5年～10年未満	64 100.0%	7 10.9%	32 50.0%	8 12.5%	7 10.9%	5 7.8%	4 6.3%	1 1.6%	
10年～20年未満	130 100.0%	28 21.5%	48 36.9%	21 16.2%	11 8.5%	19 14.6%	3 2.3%	0 0.0%	
20年～30年未満	257 100.0%	41 16.0%	111 43.2%	22 8.6%	39 15.2%	32 12.5%	11 4.3%	1 0.4%	
30年以上	401 100.0%	43 10.7%	138 34.4%	48 12.0%	83 20.7%	59 14.7%	28 7.0%	2 0.5%	
地域別構想	昭和地域	171 100.0%	18 10.5%	52 30.4%	29 17.0%	54 31.6%	9 5.3%	8 4.7%	1 0.6%
	陶地域	236 100.0%	22 9.3%	116 49.2%	26 11.0%	14 5.9%	46 19.5%	10 4.2%	2 0.8%
	滝宮地域	268 100.0%	52 19.4%	106 39.6%	26 9.7%	19 7.1%	48 17.9%	14 5.2%	3 1.1%
	羽床地域	60 100.0%	13 21.7%	29 48.3%	7 11.7%	1 1.7%	7 11.7%	3 5.0%	0 0.0%
	綾上地域	207 100.0%	25 12.1%	66 31.9%	19 9.2%	61 29.5%	20 9.7%	16 7.7%	0 0.0%

問 13 工場や企業を誘致することに対して、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。※○は1つだけ

【全体 n=948】



工場や企業誘致についての考えでは、「2. 既存の工業用地周辺や未利用地において企業を誘致するとよい。」の割合が43.4%と最も高くなっており、次いで「1. 雇用の場を確保し産業振興を図るため新規の工業用地を開発し企業を誘致するとよい。」(30.6%)、「3. 工業用地を造成してまで企業を誘致する必要ない。(現状維持)」(22.9%)と続いている。

性別にみると、男性は女性に比べて「1. 雇用の場を確保し産業振興を図るため新規の工業用地を開発し企業を誘致するとよい。」の割合が高く、女性は男性に比べて「3. 工業用地を造成してまで企業を誘致する必要ない。(現状維持)」の割合が高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「1. 雇用の場を確保し産業振興を図るため新規の工業用地を開発し企業を誘致するとよい。」の割合が最も高く、「2. 既存の工業用地周辺や未利用地において企業を誘致するとよい。」の割合が他の年代と比べて低くなっている。

職業別にみると、自営業・自由業、会社員・会社役員は「1. 雇用の場を確保し産業振興を図るため新規の工業用地を開発し企業を誘致するとよい。」の割合が他の職業と比べて高くなっている。学生は、「3. 工業用地を造成してまで企業を誘致する必要ない。(現状維持)」の割合が他の職業と比べて高くなっている。

居住地域別でみると、特に大きな差はみられない。

居住歴別にみると、生まれた時からずっと住んでいる方は、「1. 雇用の場を確保し産業振興を図るため新規の工業用地を開発し企業を誘致するとよい。」の割合が高くなっている。

居住年数別にみると、居住年数が浅い方が「3. 工業用地を造成してまで企業を誘致する必要ない。(現状維持)」の割合が高くなっている。

2 調査の結果

【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

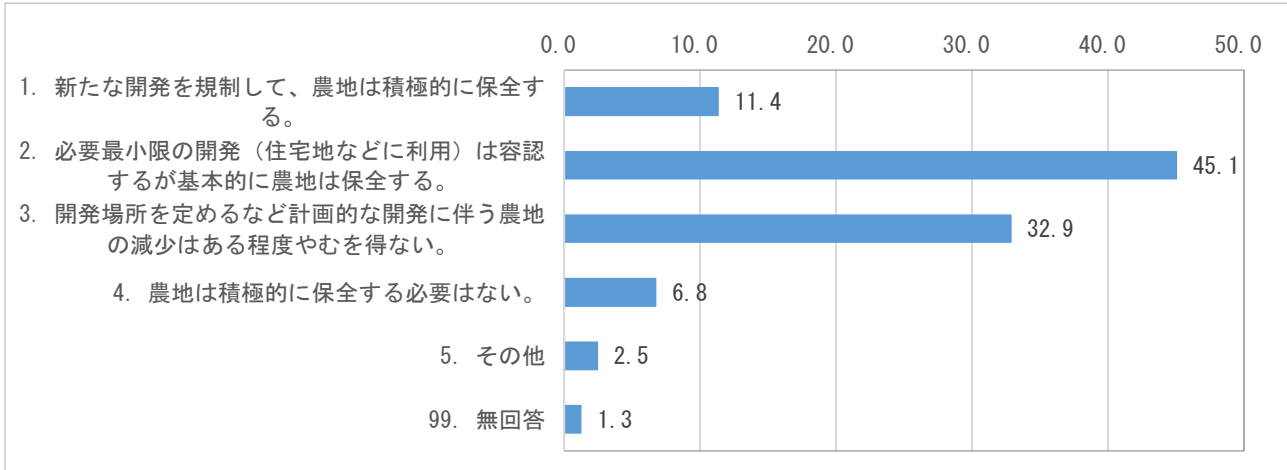
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)	回答者数(人)	1	2	3	4	99
		を工振雇 誘業興の 致用をの する図場 るとを確 よを開保 い発し新 し発規産 業業の業	を未既 誘利用 致用の する地業 るとに用 よお地 い周 いて辺 て業	ない工 で業業 。業用 (。地を 現誘造 状致成 維持する 必要ま	その 他	無 回 答
全体	948	290	411	217	21	9
	100.0%	30.6%	43.4%	22.9%	2.2%	0.9%
性別	411	140	183	73	10	5
	100.0%	34.1%	44.5%	17.8%	2.4%	1.2%
女性	522	146	221	141	10	4
	100.0%	28.0%	42.3%	27.0%	1.9%	0.8%
年代別	29	12	5	11	1	0
	100.0%	41.4%	17.2%	37.9%	3.4%	0.0%
20歳代	133	34	58	39	0	2
	100.0%	25.6%	43.6%	29.3%	0.0%	1.5%
30歳代	212	66	79	64	1	2
	100.0%	31.1%	37.3%	30.2%	0.5%	0.9%
40歳代	191	64	84	36	7	0
	100.0%	33.5%	44.0%	18.8%	3.7%	0.0%
50歳代	167	51	80	30	5	1
	100.0%	30.5%	47.9%	18.0%	3.0%	0.6%
60歳代	143	44	70	23	6	0
	100.0%	30.8%	49.0%	16.1%	4.2%	0.0%
70歳以上	70	17	35	13	1	4
	100.0%	24.3%	50.0%	18.6%	1.4%	5.7%
職業別	22	6	10	5	1	0
	100.0%	27.3%	45.5%	22.7%	4.5%	0.0%
自営業・自由業	52	20	19	12	0	1
	100.0%	38.5%	36.5%	23.1%	0.0%	1.9%
会社員、会社役員	312	111	119	71	8	3
	100.0%	35.6%	38.1%	22.8%	2.6%	1.0%
公務員・団体職員	143	37	71	31	4	0
	100.0%	25.9%	49.7%	21.7%	2.8%	0.0%
パート・アルバイト	160	48	78	32	2	0
	100.0%	30.0%	48.8%	20.0%	1.3%	0.0%
専業主婦(主夫)	75	19	35	19	1	1
	100.0%	25.3%	46.7%	25.3%	1.3%	1.3%
学生	53	15	20	17	1	0
	100.0%	28.3%	37.7%	32.1%	1.9%	0.0%
無職	100	24	45	25	2	4
	100.0%	24.0%	45.0%	25.0%	2.0%	4.0%
居住地域別	136	40	68	23	4	1
	100.0%	29.4%	50.0%	16.9%	2.9%	0.7%
千疋	35	12	13	10	0	0
	100.0%	34.3%	37.1%	28.6%	0.0%	0.0%
陶	236	80	98	52	3	3
	100.0%	33.9%	41.5%	22.0%	1.3%	1.3%
菅原	86	16	38	28	2	2
	100.0%	18.6%	44.2%	32.6%	2.3%	2.3%
滝宮	159	50	67	38	2	2
	100.0%	31.4%	42.1%	23.9%	1.3%	1.3%
北	23	3	13	5	2	0
	100.0%	13.0%	56.5%	21.7%	8.7%	0.0%
小野	27	9	10	8	0	0
	100.0%	33.3%	37.0%	29.6%	0.0%	0.0%
羽床下	33	9	15	8	1	0
	100.0%	27.3%	45.5%	24.2%	3.0%	0.0%
粉所東	22	6	9	7	0	0
	100.0%	27.3%	40.9%	31.8%	0.0%	0.0%
粉所西	12	3	3	6	0	0
	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
山田上	40	14	14	8	4	0
	100.0%	35.0%	35.0%	20.0%	10.0%	0.0%
山田下	46	14	24	7	1	0
	100.0%	30.4%	52.2%	15.2%	2.2%	0.0%
東分	15	5	5	5	0	0
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
西分	21	9	10	2	0	0
	100.0%	42.9%	47.6%	9.5%	0.0%	0.0%
羽床上	31	12	12	5	2	0
	100.0%	38.7%	38.7%	16.1%	6.5%	0.0%
牛川	20	6	11	3	0	0
	100.0%	30.0%	55.0%	15.0%	0.0%	0.0%
居住歴別	291	102	106	71	7	5
	100.0%	35.1%	36.4%	24.4%	2.4%	1.7%
綾川町に転入してきた。	436	126	199	103	5	3
	100.0%	28.9%	45.6%	23.6%	1.1%	0.7%
町外に転出したことがあるが、戻ってきた。	205	60	97	39	9	0
	100.0%	29.3%	47.3%	19.0%	4.4%	0.0%
居住年数別	44	9	18	16	1	0
	100.0%	20.5%	40.9%	36.4%	2.3%	0.0%
2年～5年未満	48	16	18	14	0	0
	100.0%	33.3%	37.5%	29.2%	0.0%	0.0%
5年～10年未満	64	23	23	18	0	0
	100.0%	35.9%	35.9%	28.1%	0.0%	0.0%
10年～20年未満	130	43	53	32	2	0
	100.0%	33.1%	40.8%	24.6%	1.5%	0.0%
20年～30年未満	257	79	110	62	3	3
	100.0%	30.7%	42.8%	24.1%	1.2%	1.2%
30年以上	401	119	188	74	15	5
	100.0%	29.7%	46.9%	18.5%	3.7%	1.2%
地域別構想	171	52	81	33	4	1
	100.0%	30.4%	47.4%	19.3%	2.3%	0.6%
陶地域	236	80	98	52	3	3
	100.0%	33.9%	41.5%	22.0%	1.3%	1.3%
滝宮地域	268	69	118	71	6	4
	100.0%	25.7%	44.0%	26.5%	2.2%	1.5%
羽床地域	60	18	25	16	1	0
	100.0%	30.0%	41.7%	26.7%	1.7%	0.0%
綾上地域	207	69	88	43	7	0
	100.0%	33.3%	42.5%	20.8%	3.4%	0.0%

2 調査の結果

問 14 農地のあり方について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。

※○は1つだけ

【全体 n=948】



農地のあり方については、「2. 必要最小限の開発（住宅地などに利用）は容認するが基本的に農地は保全する。」の割合が45.1%と最も高くなっており、次いで「3. 開発場所を定めるなど計画的な開発に伴う農地の減少はある程度やむを得ない。」（32.9%）、「1. 新たな開発を規制して、農地は積極的に保全する。」（11.6%）、「4. 農地は積極的に保全する必要はない。」（6.8%）となっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、10歳代及び70歳以上では、「4. 農地は積極的に保全する必要はない。」の割合が高くなっている。

職業別にみると、農林業は他の職業に比べて「3. 開発場所を定めるなど計画的な開発に伴う農地の減少はある程度やむを得ない。」の割合が若干低く、「1. 新たな開発を規制して、農地は積極的に保全する」の割合が若干高くなっている。

居住地域別でみると、羽床地域、綾上地域では「4. 農地は積極的に保全する必要はない。」の割合が高くなっている。

居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

居住年数別にみると、2年未満では「1. 新たな開発を規制して、農地は積極的に保全する」、5年未満では「4. 農地は積極的に保全する必要はない。」の割合が高くなっている。

2 調査の結果

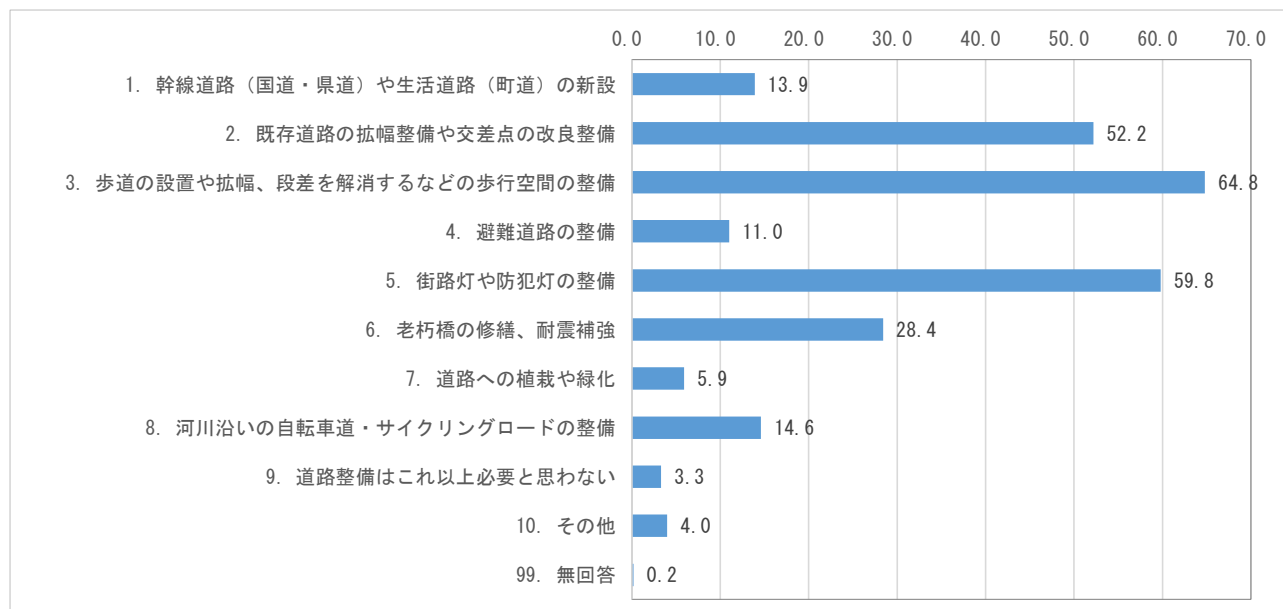
【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

	回答者数(人)	1	2	3	4	5	99
		新たな開発を積極的に保 全する。	住宅必要最小限の開発へ住 居は認めるが基本的に農地 は保全する。	計画開発の減速を伴う程度 や	農地は積極的に保全す る必要はない。	その他	無回答
全体	948 100.0%	108 11.4%	428 45.1%	312 32.9%	64 6.8%	24 2.5%	12 1.3%
性別							
男性	411 100.0%	45 10.9%	168 40.9%	147 35.8%	34 8.3%	11 2.7%	6 1.5%
女性	522 100.0%	62 11.9%	254 48.7%	159 30.5%	30 5.7%	11 2.1%	6 1.1%
年代別							
10歳代	29 100.0%	4 13.8%	13 44.8%	6 20.7%	5 17.2%	1 3.4%	0 0.0%
20歳代	133 100.0%	16 12.0%	71 53.4%	37 27.8%	8 6.0%	1 0.8%	0 0.0%
30歳代	212 100.0%	22 10.4%	100 47.2%	67 31.6%	17 8.0%	5 2.4%	1 0.5%
40歳代	191 100.0%	19 9.9%	87 45.5%	64 33.5%	12 6.3%	7 3.7%	2 1.0%
50歳代	167 100.0%	23 13.8%	72 43.1%	61 36.5%	5 3.0%	3 1.8%	3 1.8%
60歳代	143 100.0%	15 10.5%	58 40.6%	53 37.1%	9 6.3%	6 4.2%	2 1.4%
70歳以上	70 100.0%	8 11.4%	26 37.1%	23 32.9%	8 11.4%	1 1.4%	4 5.7%
職業別							
農林業	22 100.0%	3 13.6%	10 45.5%	6 27.3%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%
自営業・自由業	52 100.0%	4 7.7%	28 53.8%	11 21.2%	6 11.5%	2 3.8%	1 1.9%
会社員、会社役員	312 100.0%	40 12.8%	128 41.0%	108 34.6%	25 8.0%	7 2.2%	4 1.3%
公務員・団体職員	143 100.0%	11 7.7%	63 44.1%	56 39.2%	6 4.2%	6 4.2%	1 0.7%
パート・アルバイト	160 100.0%	19 11.9%	77 48.1%	52 32.5%	7 4.4%	3 1.9%	2 1.3%
専業主婦(主夫)	75 100.0%	11 14.7%	34 45.3%	24 32.0%	5 6.7%	1 1.3%	0 0.0%
学生	53 100.0%	6 11.3%	25 47.2%	16 30.2%	5 9.4%	1 1.9%	0 0.0%
無職	100 100.0%	8 8.0%	50 50.0%	31 31.0%	6 6.0%	2 2.0%	3 3.0%
居住地域別							
畑田	136 100.0%	10 7.4%	64 47.1%	47 34.6%	6 4.4%	6 4.4%	3 2.2%
千疋	35 100.0%	6 17.1%	16 45.7%	11 31.4%	2 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
陶	236 100.0%	31 13.1%	110 46.6%	73 30.9%	16 6.8%	3 1.3%	3 1.3%
萱原	86 100.0%	9 10.5%	44 51.2%	22 25.6%	6 7.0%	3 3.5%	2 2.3%
滝宮	159 100.0%	19 11.9%	70 44.0%	61 38.4%	6 3.8%	2 1.3%	1 0.6%
北	23 100.0%	5 21.7%	7 30.4%	7 30.4%	2 8.7%	2 8.7%	0 0.0%
小野	27 100.0%	3 11.1%	12 44.4%	7 25.9%	5 18.5%	0 0.0%	0 0.0%
羽床下	33 100.0%	2 6.1%	17 51.5%	12 36.4%	1 3.0%	0 0.0%	1 3.0%
粉所東	22 100.0%	1 4.5%	11 50.0%	6 27.3%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%
粉所西	12 100.0%	0 0.0%	4 33.3%	7 58.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
山田上	40 100.0%	5 12.5%	14 35.0%	19 47.5%	1 2.5%	1 2.5%	0 0.0%
山田下	46 100.0%	5 10.9%	20 43.5%	12 26.1%	5 10.9%	4 8.7%	0 0.0%
東分	15 100.0%	3 20.0%	7 46.7%	4 26.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
西分	21 100.0%	2 9.5%	8 38.1%	6 28.6%	5 23.8%	0 0.0%	0 0.0%
羽床上	31 100.0%	3 9.7%	14 45.2%	10 32.3%	2 6.5%	1 3.2%	1 3.2%
牛川	20 100.0%	3 15.0%	9 45.0%	5 25.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住歴別							
生まれた時からずっと 住んでいる。	291 100.0%	40 13.7%	130 44.7%	88 30.2%	22 7.6%	9 3.1%	2 0.7%
綾川町に転入してき た。	436 100.0%	44 10.1%	203 46.6%	146 33.5%	26 6.0%	8 1.8%	9 2.1%
町外に転出したことが あるが、戻ってきた。	205 100.0%	21 10.2%	88 42.9%	76 37.1%	15 7.3%	5 2.4%	0 0.0%
居住年数別							
2年未満	44 100.0%	10 22.7%	19 43.2%	9 20.5%	5 11.4%	1 2.3%	0 0.0%
2年～5年未満	48 100.0%	3 6.3%	27 56.3%	13 27.1%	5 10.4%	0 0.0%	0 0.0%
5年～10年未満	64 100.0%	4 6.3%	31 48.4%	24 37.5%	4 6.3%	1 1.6%	0 0.0%
10年～20年未満	130 100.0%	13 10.0%	60 46.2%	42 32.3%	10 7.7%	4 3.1%	1 0.8%
20年～30年未満	257 100.0%	30 11.7%	118 45.9%	84 32.7%	14 5.4%	7 2.7%	4 1.6%
30年以上	401 100.0%	48 12.0%	171 42.6%	139 34.7%	26 6.5%	11 2.7%	6 1.5%
地域別構想							
昭和地域	171 100.0%	16 9.4%	80 46.8%	58 33.9%	8 4.7%	6 3.5%	3 1.8%
陶地域	236 100.0%	31 13.1%	110 46.6%	73 30.9%	16 6.8%	3 1.3%	3 1.3%
滝宮地域	268 100.0%	33 12.3%	121 45.1%	90 33.6%	14 5.2%	7 2.6%	3 1.1%
羽床地域	60 100.0%	5 8.3%	29 48.3%	19 31.7%	6 10.0%	0 0.0%	1 1.7%
綾上地域	207 100.0%	22 10.6%	87 42.0%	69 33.3%	20 9.7%	7 3.4%	2 1.0%

問 15 道路の整備について、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※○は3つまで

【全体 n=948】



道路整備を進めるうえで、どのような取り組みが重要だと思うかについては、「3. 歩道の設置や拡幅、段差を解消するなどの歩行空間の整備」の割合が64.8%と最も高くなっており、次いで「5. 街路灯や防犯灯の整備」(59.8%)、「2. 既存道路の拡幅整備や交差点の改良整備」(52.2%)、「6. 老朽橋の修繕、耐震補強」(28.4%)と続いている。

性別にみると、男性は女性に比べて「2. 既存道路の拡幅整備や交差点の改良整備」や「8. 河川沿いの自転車道・サイクリングロードの整備」、女性は男性に比べて「5. 街路灯や防犯灯の整備」の割合が高くなっている。

年代別にみると、10歳代は他の年代に比べて、「2. 既存道路の拡幅整備や交差点の改良整備」の割合が低く、「3. 歩道の設置や拡幅、段差を解消するなどの歩行空間の整備」や「4. 避難道路の整備」の割合が高くなっている。

職業別にみると、農林業及び公務員・団体職員は「2. 既存道路の拡幅整備や交差点の改良整備」の割合が、他の職業に比べて高くなっている。

居住地域別でみると、昭和地域は他の地区に比べて「2. 既存道路の拡幅整備や交差点の改良整備」の割合が高く、「5. 街路灯や防犯灯の整備」の割合が低くなっている。綾上地域では他の地区に比べて「6. 老朽橋の修繕、耐震補強」の割合が高くなっている。

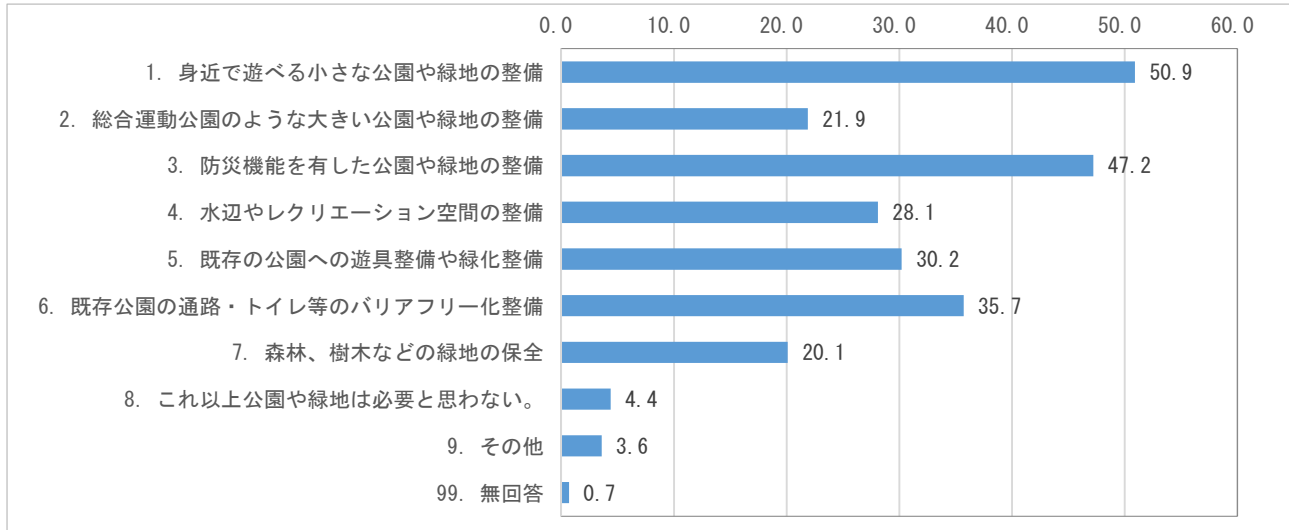
居住歴別にみると、生まれた時からずっと住んでいる方は、「1. 幹線道路（国道・県道）や生活道路（町道）の新設」の割合が高く、「2. 既存道路の拡幅整備や交差点の改良整備」の割合が低くなっている。

居住年数別にみると、2年未満の「3. 歩道の設置や拡幅、段差を解消するなどの歩行空間の整備」の割合が低くなっている。

問 16 公園・緑地の整備について、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※〇は3つまで

【全体 n=948】



公園・緑地の整備を進めるうえで、どのような取り組みが重要だと思うかについては、「1. 身近で遊べる小さな公園や緑地の整備」の割合が50.9%と最も高くなっており、次いで「3. 防災機能を有した公園や緑地の整備」(47.2%)、「6. 既存公園の通路・トイレ等のバリアフリー化整備」(35.7%)、「5. 既存の公園への遊具整備や緑化整備」(30.2%)、「4. 水辺やレクリエーション空間の整備」(28.1%)と続いている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、10歳代から30歳代は「1. 身近で遊べる小さな公園や緑地の整備」の割合が高く、50歳代から70歳以上では「3. 防災機能を有した公園や緑地の整備」の割合が高くなっている。また、70歳以上では、「6. 既存公園の通路・トイレ等のバリアフリー化整備」の割合がほかの年代に比べて高くなっている。

職業別にみると、農林業は「1. 既存公園の通路・トイレ等のバリアフリー化整備」が45.5%と最も高くなっている。

居住地域別でみると、綾上地域では「3. 防災機能を有した公園や緑地の整備」が最も高く45.4%となっており、「1. 身近で遊べる小さな公園や緑地の整備」は他の地域と比べて低くなっている。

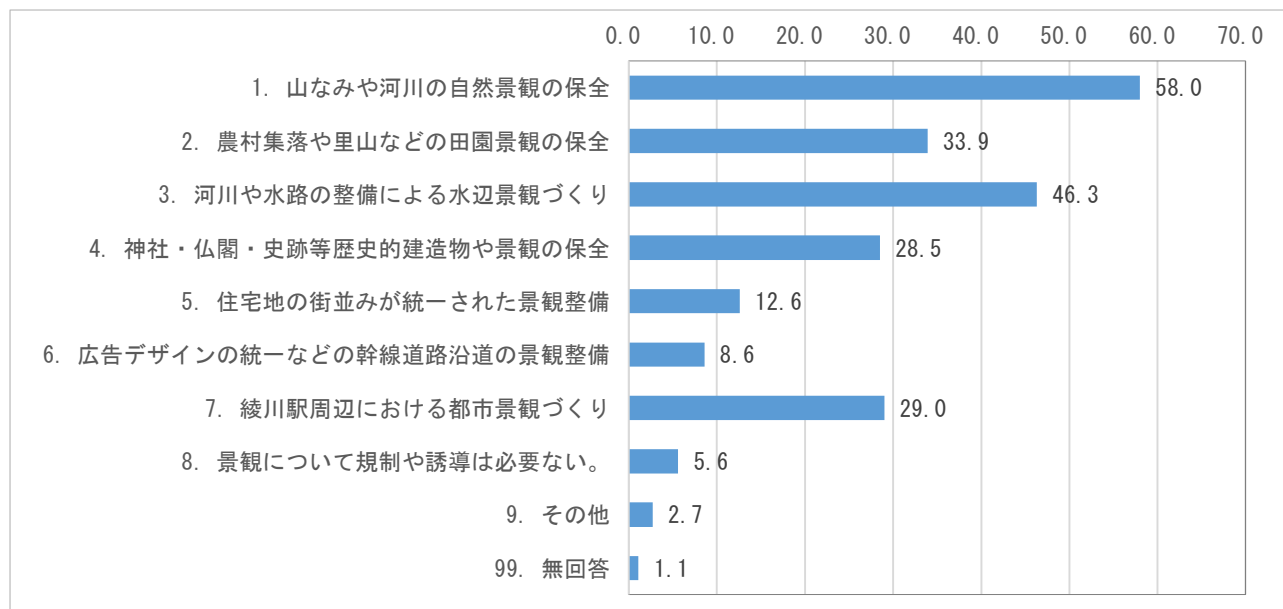
居住歴別にみると、生まれた時からずっと住んでいる方は「6. 既存公園の通路・トイレ等のバリアフリー化整備」の割合が高くなっている。

居住年数別にみると、10年未満の方は「1. 身近で遊べる小さな公園や緑地の整備」の割合が高くなっており、10年以上の方は「6. 既存公園の通路・トイレ等のバリアフリー化整備」の割合が高くなっている。

問 17 良好な景観形成について、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※〇は3つまで

【全体 n=948】



良好な景観形成を進めるうえで、どのような取り組みが重要だと思うかについては、「1. 山なみや河川の自然景観の保全」の割合が58.0%と最も高くなっており、次いで「3. 河川や水路の整備による水辺景観づくり」(46.3%)、「2. 農村集落や里山などの田園景観の保全」(33.9%)、「7. 綾川駅周辺における都市景観づくり」(29.0%)、「4. 神社・仏閣・史跡等歴史的建造物や景観の保全」(28.5%)となっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、「7. 綾川駅周辺における都市景観づくり」は年代が上がるにつれて低くなっている。

職業別にみると、学生、会社員・会社役員は他の職業に比べて「7. 綾川駅周辺における都市景観づくり」の割合が高くなっている。

居住地域別でみると、綾上地域では「2. 農村集落や里山などの田園景観の保全」の割合が高く、「7. 綾川駅周辺における都市景観づくり」の割合が低くなっている。滝宮地域では、「7. 綾川駅周辺における都市景観づくり」の割合が高くなっている。

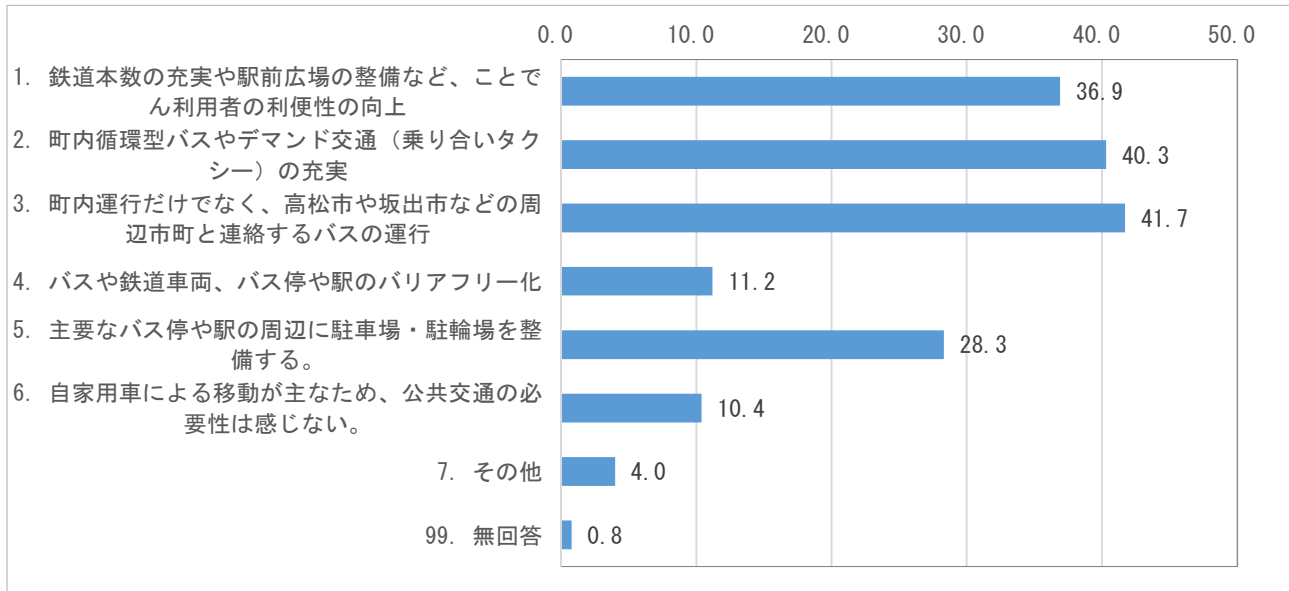
居住歴別にみると、町外に転出したことがあるが、戻ってきた方は、「1. 山なみや河川の自然景観の保全」や「2. 農村集落や里山などの田園景観の保全」の割合が比較的高くなっている。

居住年数別にみると、30年以上住んでいる方は、「3. 河川や水路の整備による水辺景観づくり」の割合が52.6%と高くなっている。

問 18 今後の公共交通について、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※○は2つまで

【全体 n=948】



今後の公共交通を進めるうえで、どのような取り組みが重要だと思うかについては、「3. 町内運行だけでなく、高松市や坂出市などの周辺市町と連絡するバスの運行」の割合が41.7%と最も高くなっており、次いで「2. 町内循環型バスやデマンド交通（乗り合いタクシー）の充実」（40.3%）、「1. 鉄道本数の充実や駅前広場の整備など、ことடன்利用者の利便性の向上」（36.9%）、「5. 主要なバス停や駅の周辺に駐車場・駐輪場を整備する。」（28.3%）となっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、「2. 町内循環型バスやデマンド交通（乗り合いタクシー）の充実」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっているが、「1. 鉄道本数の充実や駅前広場の整備など、ことடன்利用者の利便性の向上」や「3. 町内運行だけでなく、高松市や坂出市などの周辺市町と連絡するバスの運行」の割合は年代が下がるにつれて高くなっている。

職業別にみると、専業主婦（主夫）や無職の方は「2. 町内循環型バスやデマンド交通（乗り合いタクシー）の充実」の割合が他の職業と比べて高くなっている。また、学生は「1. 鉄道本数の充実や駅前広場の整備など、ことடன்利用者の利便性の向上」の割合が高くなっている。

居住地域別でみると、綾上地域では「2. 町内循環型バスやデマンド交通（乗り合いタクシー）の充実」の割合が約6割と最も高くなっている。

居住歴別にみると、町外に転出したことがあるが、戻ってきた方は、「2. 町内循環型バスやデマンド交通（乗り合いタクシー）の充実」の割合が高くなっている。

居住年数別にみると、「2. 町内循環型バスやデマンド交通（乗り合いタクシー）の充実」の割合は居住年数が長くなるにつれて高くなっている。

2 調査の結果

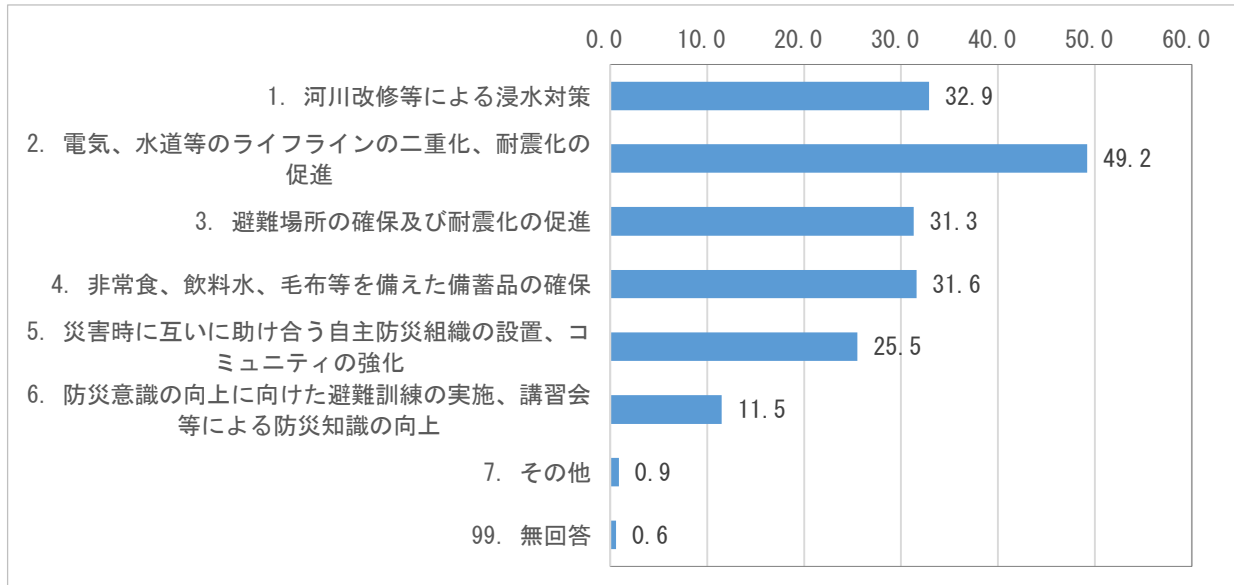
【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

	回答者数（人）	1	2	3	4	5	6	7	99	
		向で広鉄道上場の利用者数の充実や利便性の向上	町内循環型バスやデマ（クンシ）の充実	町内運行だけでなく、周辺市や坂出市などの運行と連絡するバ	バスや駅のアプリ	主要なバス停や駅の周辺を整備する。	自家用車による移動の必要性は感じない。	その他	無回答	
全体	948 100.0%	350 36.9%	382 40.3%	395 41.7%	106 11.2%	268 28.3%	99 10.4%	38 4.0%	8 0.8%	
性別	男性	411 100.0%	149 36.3%	163 39.7%	179 43.6%	47 11.4%	114 27.7%	44 10.7%	15 3.6%	5 1.2%
	女性	522 100.0%	194 37.2%	213 40.8%	211 40.4%	58 11.1%	150 28.7%	54 10.3%	22 4.2%	3 0.6%
年代別	10歳代	29 100.0%	20 69.0%	8 27.6%	16 55.2%	5 17.2%	5 17.2%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	133 100.0%	63 47.4%	38 28.6%	57 42.9%	16 12.0%	37 27.8%	12 9.0%	6 4.5%	2 1.5%
	30歳代	212 100.0%	80 37.7%	56 26.4%	97 45.8%	23 10.8%	62 29.2%	37 17.5%	6 2.8%	0 0.0%
	40歳代	191 100.0%	58 30.4%	81 42.4%	87 45.5%	21 11.0%	59 30.9%	19 9.9%	13 6.8%	1 0.5%
	50歳代	167 100.0%	57 34.1%	85 50.9%	68 40.7%	18 10.8%	46 27.5%	10 6.0%	7 4.2%	0 0.0%
	60歳代	143 100.0%	47 32.9%	76 53.1%	50 35.0%	13 9.1%	36 25.2%	15 10.5%	4 2.8%	2 1.4%
	70歳以上	70 100.0%	22 31.4%	37 52.9%	20 28.6%	10 14.3%	22 31.4%	5 7.1%	2 2.9%	3 4.3%
職業別	農林業	22 100.0%	9 40.9%	4 18.2%	12 54.5%	4 18.2%	5 22.7%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%
	自営業・自由業	52 100.0%	20 38.5%	22 42.3%	20 38.5%	7 13.5%	12 23.1%	6 11.5%	3 5.8%	0 0.0%
	会社員・会社役員	312 100.0%	121 38.8%	107 34.3%	140 44.9%	33 10.6%	85 27.2%	35 11.2%	13 4.2%	5 1.6%
	公務員・団体職員	143 100.0%	61 42.7%	60 42.0%	59 41.3%	15 10.5%	38 26.6%	10 7.0%	5 3.5%	0 0.0%
	パート・アルバイト	160 100.0%	51 31.9%	69 43.1%	71 44.4%	15 9.4%	47 29.4%	18 11.3%	5 3.1%	0 0.0%
	専業主婦（主夫）	75 100.0%	22 29.3%	39 52.0%	25 33.3%	6 8.0%	31 41.3%	8 10.7%	2 2.7%	0 0.0%
	学生	53 100.0%	33 62.3%	12 22.6%	25 47.2%	9 17.0%	12 22.6%	3 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
	無職	100 100.0%	23 23.0%	52 52.0%	36 36.0%	9 9.0%	32 32.0%	15 15.0%	4 4.0%	2 2.0%
居住地域別	畑田	136 100.0%	62 45.6%	51 37.5%	54 39.7%	26 19.1%	34 25.0%	9 6.6%	6 4.4%	1 0.7%
	千疋	35 100.0%	12 34.3%	14 40.0%	14 40.0%	1 2.9%	9 25.7%	3 8.6%	2 5.7%	0 0.0%
	陶	236 100.0%	83 35.2%	89 37.7%	92 39.0%	20 8.5%	76 32.2%	29 12.3%	6 2.5%	3 1.3%
	荳原	86 100.0%	27 31.4%	24 27.9%	40 46.5%	12 14.0%	24 27.9%	13 15.1%	4 4.7%	2 2.3%
	滝宮	159 100.0%	77 48.4%	53 33.3%	78 49.1%	20 12.6%	38 23.9%	14 8.8%	3 1.9%	0 0.0%
	北	23 100.0%	6 26.1%	8 34.8%	14 60.9%	2 8.7%	4 17.4%	5 21.7%	1 4.3%	0 0.0%
	小野	27 100.0%	13 48.1%	9 33.3%	7 25.9%	2 7.4%	5 18.5%	4 14.8%	2 7.4%	0 0.0%
	羽床下	33 100.0%	15 45.5%	10 30.3%	13 39.4%	3 9.1%	13 39.4%	4 12.1%	1 3.0%	0 0.0%
	枋所東	22 100.0%	4 18.2%	14 63.6%	10 45.5%	4 18.2%	6 27.3%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
	枋所西	12 100.0%	1 8.3%	10 83.3%	5 41.7%	0 0.0%	6 50.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
	山田上	40 100.0%	13 32.5%	26 65.0%	17 42.5%	3 7.5%	4 10.0%	1 2.5%	4 10.0%	1 2.5%
	山田下	46 100.0%	13 28.3%	25 54.3%	13 28.3%	3 6.5%	18 39.1%	6 13.0%	3 6.5%	0 0.0%
	東分	15 100.0%	2 13.3%	6 40.0%	8 53.3%	3 20.0%	9 60.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
	西分	21 100.0%	4 19.0%	14 66.7%	6 28.6%	3 14.3%	7 33.3%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%
	羽床上	31 100.0%	11 35.5%	15 48.4%	15 48.4%	1 3.2%	6 19.4%	2 6.5%	2 6.5%	0 0.0%
	牛川	20 100.0%	3 15.0%	12 60.0%	8 40.0%	3 15.0%	8 40.0%	1 5.0%	2 10.0%	0 0.0%
居住歴別	生まれた時からずっと住んでいる。	291 100.0%	106 36.4%	113 38.8%	123 42.3%	41 14.1%	81 27.8%	28 9.6%	10 3.4%	3 1.0%
	綾川町に転入してきた。	436 100.0%	166 38.1%	160 36.7%	183 42.0%	49 11.2%	124 28.4%	48 11.0%	15 3.4%	4 0.9%
	町外に転出したことがあるが、戻ってきた。	205 100.0%	70 34.1%	101 49.3%	85 41.5%	14 6.8%	60 29.3%	20 9.8%	13 6.3%	0 0.0%
居住年数別	2年未満	44 100.0%	19 43.2%	8 18.2%	18 40.9%	7 15.9%	10 22.7%	8 18.2%	2 4.5%	0 0.0%
	2年～5年未満	48 100.0%	20 41.7%	12 25.0%	19 39.6%	5 10.4%	11 22.9%	8 16.7%	1 2.1%	0 0.0%
	5年～10年未満	64 100.0%	28 43.8%	16 25.0%	32 50.0%	8 12.5%	16 25.0%	8 12.5%	4 6.3%	0 0.0%
	10年～20年未満	130 100.0%	52 40.0%	44 33.8%	71 54.6%	20 15.4%	33 25.4%	9 6.9%	3 2.3%	0 0.0%
	20年～30年未満	257 100.0%	102 39.7%	99 38.5%	108 42.0%	21 8.2%	77 30.0%	26 10.1%	11 4.3%	3 1.2%
	30年以上	401 100.0%	127 31.7%	201 50.1%	146 36.4%	45 11.2%	120 29.9%	40 10.0%	17 4.2%	4 1.0%
地域別構想	昭和地域	171 100.0%	74 43.3%	65 38.0%	68 39.8%	27 15.8%	43 25.1%	12 7.0%	8 4.7%	1 0.6%
	陶地域	236 100.0%	83 35.2%	89 37.7%	92 39.0%	20 8.5%	76 32.2%	29 12.3%	6 2.5%	3 1.3%
	滝宮地域	268 100.0%	110 41.0%	85 31.7%	132 49.3%	34 12.7%	66 24.6%	32 11.9%	8 3.0%	2 0.7%
	羽床地域	60 100.0%	28 46.7%	19 31.7%	20 33.3%	5 8.3%	18 30.0%	8 13.3%	3 5.0%	0 0.0%
	綾上地域	207 100.0%	51 24.6%	122 58.9%	82 39.6%	20 9.7%	82 30.9%	18 8.7%	12 5.8%	1 0.5%

問 19 今後の防災・減災に対して、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※○は2つまで

【全体 n=948】



今後の防災・減災に対して、どのような取り組みが重要だと思うかについては、「2. 電気、水道等のライフラインの二重化、耐震化の促進」の割合が 49.2%、次いで「1. 河川改修等による浸水対策」(32.9%)、「4. 非常食、飲料水、毛布等を備えた備蓄品の確保」(31.6%)、「3. 避難場所の確保及び耐震化の促進」(31.3%)、「5. 災害時に互いに助け合う自主防災組織の設置、コミュニティの強化」(25.5%) となっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、60 歳代以上は他の年代に比べて「1. 河川改修等による浸水対策」の割合が高くなっている。また、「3. 避難場所の確保及び耐震化の促進」は年代が下がるにつれて高くなっている。

職業別にみると、農林業は「1. 河川改修等による浸水対策」の割合が 72.7%と、他の職業と比べて高くなっている。

居住地域別にみると、羽床地域と綾上地域は他の地域に比べて「1. 河川改修等による浸水対策」の割合が高くなっている。

居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

居住年数別にみると、特に大きな差はみられない。

2 調査の結果

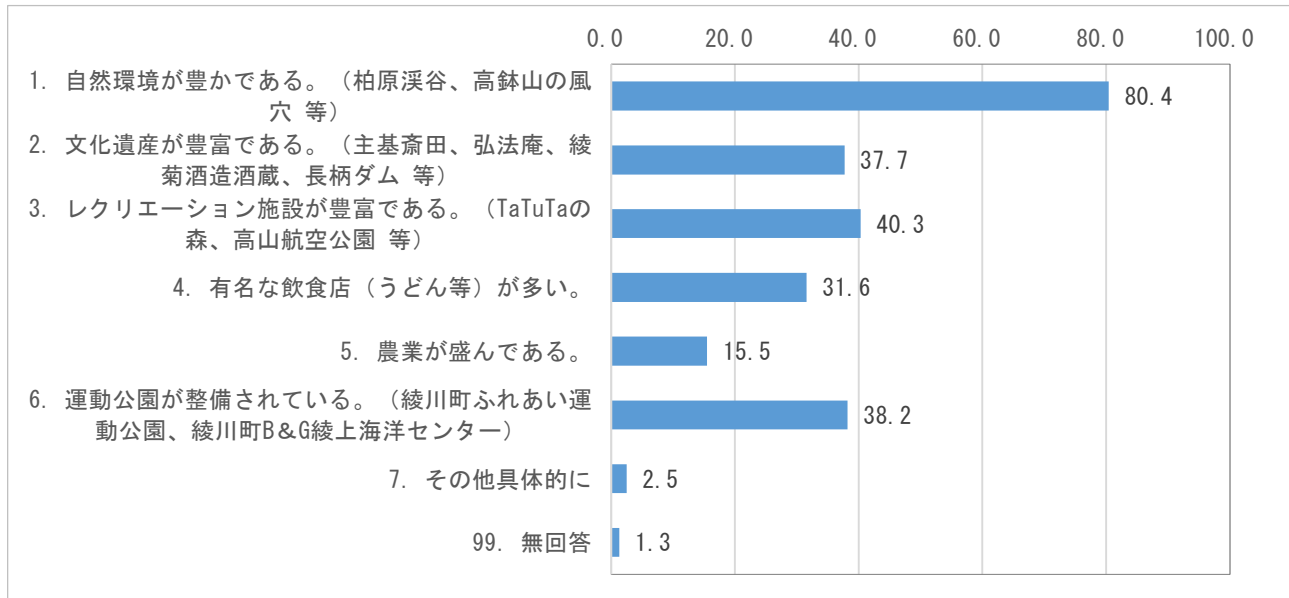
【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

	回答者数（人）	1	2	3	4	5	6	7	99		
		河川改修等による浸水対策	電気、水道等のライフラインの二重化、耐震化の促進	避難場所の確保及び耐震化の促進	非常食、飲料水、毛布等を備えた備蓄品の確保	災害時に互いに助け合う自主防災組織の強化	防災意識の向上に向けた訓練の実施	その他	無回答		
全体	948 100.0%	312 32.9%	466 49.2%	297 31.3%	300 31.6%	242 25.5%	109 11.5%	9 0.9%	6 0.6%		
性別	男性	411 100.0%	144 35.0%	194 47.2%	121 29.4%	122 29.7%	117 28.5%	49 11.9%	8 1.9%	3 0.7%	
	女性	522 100.0%	161 30.8%	261 50.0%	171 32.8%	175 33.5%	124 23.8%	59 11.3%	1 0.2%	3 0.6%	
年代別	10歳代	29 100.0%	9 31.0%	12 41.4%	13 44.8%	13 44.8%	4 13.8%	4 13.8%	0 0.0%	0 0.0%	
	20歳代	133 100.0%	37 27.8%	65 48.9%	53 39.8%	51 38.3%	28 21.1%	11 8.3%	2 1.5%	1 0.8%	
	30歳代	212 100.0%	69 32.5%	115 54.2%	71 33.5%	77 36.3%	42 19.8%	17 8.0%	1 0.5%	0 0.0%	
	40歳代	191 100.0%	61 31.9%	85 44.5%	62 32.5%	64 33.5%	51 26.7%	27 14.1%	1 0.5%	0 0.0%	
	50歳代	167 100.0%	50 29.9%	94 56.3%	44 26.3%	44 26.3%	55 32.9%	14 8.4%	1 0.6%	0 0.0%	
	60歳代	143 100.0%	55 38.5%	70 49.0%	37 25.9%	36 25.2%	41 28.7%	19 13.3%	3 2.1%	0 0.0%	
	70歳以上	70 100.0%	29 41.4%	24 34.3%	15 21.4%	15 21.4%	21 30.0%	17 24.3%	1 1.4%	5 7.1%	
職業別	農林業	22 100.0%	16 72.7%	8 36.4%	4 18.2%	5 22.7%	6 27.3%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	
	自営業・自由業	52 100.0%	19 36.5%	24 46.2%	11 21.2%	17 32.7%	19 36.5%	4 7.7%	1 1.9%	0 0.0%	
	会社員、会社役員	312 100.0%	93 29.8%	168 53.8%	91 29.2%	104 33.3%	76 24.4%	34 10.9%	2 0.6%	2 0.6%	
	公務員・団体職員	143 100.0%	61 42.7%	68 47.6%	52 36.4%	30 21.0%	39 27.3%	16 11.2%	0 0.0%	0 0.0%	
	パート・アルバイト	160 100.0%	45 28.1%	82 51.3%	52 32.5%	62 38.8%	36 22.5%	18 11.3%	1 0.6%	0 0.0%	
	専業主婦（主夫）	75 100.0%	28 37.3%	40 53.3%	21 28.0%	20 26.7%	19 25.3%	7 9.3%	0 0.0%	1 1.3%	
	学生	53 100.0%	13 24.5%	26 49.1%	20 37.7%	20 37.7%	9 17.0%	7 13.2%	2 3.8%	0 0.0%	
	無職	100 100.0%	31 31.0%	36 36.0%	32 32.0%	30 30.0%	28 28.0%	18 18.0%	3 3.0%	3 3.0%	
	居住地域別	畑田	136 100.0%	38 27.9%	60 44.1%	39 28.7%	47 34.6%	39 28.7%	21 15.4%	1 0.7%	1 0.7%
千足		35 100.0%	11 31.4%	20 57.1%	9 25.7%	12 34.3%	8 22.9%	3 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	
陶		236 100.0%	69 29.2%	121 51.3%	78 33.1%	79 33.5%	64 27.1%	26 11.0%	1 0.4%	0 0.0%	
荳原		86 100.0%	22 25.6%	47 54.7%	25 29.1%	32 37.2%	17 19.8%	10 11.6%	2 2.3%	2 2.3%	
滝宮		159 100.0%	45 28.3%	81 50.9%	58 36.5%	53 33.3%	33 20.8%	16 10.1%	1 0.6%	0 0.0%	
北		23 100.0%	9 39.1%	10 43.5%	6 26.1%	9 39.1%	5 21.7%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	
小野		27 100.0%	15 55.6%	10 37.0%	8 29.6%	6 22.2%	6 22.2%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	
羽床下		33 100.0%	13 39.4%	17 51.5%	9 27.3%	14 42.4%	8 24.2%	4 12.1%	1 3.0%	0 0.0%	
枹所東		22 100.0%	5 22.7%	10 45.5%	5 22.7%	8 36.4%	11 50.0%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	
枹所西		12 100.0%	9 75.0%	3 25.0%	4 33.3%	3 25.0%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
山田上		40 100.0%	15 37.5%	24 60.0%	8 20.0%	3 7.5%	15 37.5%	4 10.0%	2 5.0%	1 2.5%	
山田下		46 100.0%	22 47.8%	21 45.7%	16 34.8%	11 23.9%	13 28.3%	4 8.7%	0 0.0%	1 2.2%	
東分		15 100.0%	5 33.3%	10 66.7%	7 46.7%	4 26.7%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	
西分		21 100.0%	8 38.1%	6 28.6%	7 33.3%	5 23.8%	9 42.9%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	
羽床上		31 100.0%	13 41.9%	14 45.2%	10 32.3%	10 32.3%	5 16.1%	3 9.7%	0 0.0%	0 0.0%	
牛川		20 100.0%	11 55.0%	8 40.0%	5 25.0%	3 15.0%	3 15.0%	6 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	
居住歴別		生まれた時からずっと住んでいる。	291 100.0%	100 34.4%	139 47.8%	85 29.2%	91 31.3%	76 26.1%	34 11.7%	6 2.1%	2 0.7%
		綾川町に転入してきた。	436 100.0%	130 29.8%	221 50.7%	148 33.9%	143 32.8%	105 24.1%	42 9.6%	2 0.5%	3 0.7%
		町外に転出したことがあるが、戻ってきた。	205 100.0%	74 36.1%	101 49.3%	58 28.3%	60 29.3%	58 28.3%	31 15.1%	1 0.5%	0 0.0%
居住年数別	2年未満	44 100.0%	15 34.1%	22 50.0%	12 27.3%	17 38.6%	10 22.7%	3 6.8%	0 0.0%	0 0.0%	
	2年～5年未満	48 100.0%	20 41.7%	20 41.7%	16 33.3%	17 35.4%	11 22.9%	5 10.4%	0 0.0%	0 0.0%	
	5年～10年未満	64 100.0%	21 32.8%	31 48.4%	18 28.1%	18 28.1%	17 26.6%	8 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	
	10年～20年未満	130 100.0%	38 29.2%	69 53.1%	49 37.7%	51 39.2%	22 16.9%	14 10.8%	0 0.0%	0 0.0%	
	20年～30年未満	257 100.0%	59 23.0%	131 51.0%	100 38.9%	85 33.1%	67 26.1%	28 10.9%	2 0.8%	2 0.8%	
	30年以上	401 100.0%	158 39.4%	191 47.6%	100 24.9%	111 27.7%	115 28.7%	51 12.7%	7 1.7%	3 0.7%	
地域別構想	昭和地域	171 100.0%	49 28.7%	80 46.8%	48 28.1%	48 34.5%	47 27.5%	24 14.0%	1 0.6%	1 0.6%	
	陶地域	236 100.0%	69 29.2%	121 51.3%	78 33.1%	79 33.5%	64 27.1%	26 11.0%	1 0.4%	0 0.0%	
	滝宮地域	268 100.0%	76 28.4%	138 51.5%	89 33.2%	94 35.1%	55 20.5%	28 10.4%	4 1.5%	2 0.7%	
	羽床地域	60 100.0%	28 46.7%	27 45.0%	17 28.3%	20 33.3%	14 23.3%	7 11.7%	1 1.7%	0 0.0%	
	綾上地域	207 100.0%	88 42.5%	96 46.4%	62 30.0%	47 22.7%	47 30.0%	24 11.6%	2 1.0%	2 1.0%	

(5) 南部地域のまちづくりについて

問 20 南部地域の強みとなる地域資源や将来にわたって大切にしたいと思う魅力は何ですか？※〇は3つまで

【全体 n=948】



南部地域の強みとなる地域資源や将来にわたって大切にしたいと思う魅力については、「1. 自然環境が豊かである。(柏原溪谷、高鉢山の風穴等)」の割合が80.4%と最も高くなっており、次いで「3. レクリエーション施設が豊富である。(TaTuTaの森、高山航空公園等)」(40.3%)、「6. 運動公園が整備されている。(綾川町ふれあい運動公園、綾川町B&G綾上海洋センター)」(38.2%)、「2. 文化遺産が豊富である。(主基斎田、弘法庵、綾菊酒造酒蔵、長柄ダム等)」(37.7%)となっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、「4. 有名な飲食店(うどん等)が多い。」の割合は、年代が下がるにつれて高く、「2. 文化遺産が豊富である。(主基斎田、弘法庵、綾菊酒造酒蔵、長柄ダム等)」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。

職業別にみると、学生は、他の職業に比べて「4. 有名な飲食店(うどん等)が多い。」の割合が高くなっている。

居住地域別でみると、粉所東と粉所西は「3. レクリエーション施設が豊富である。(TaTuTaの森、高山航空公園等)」の割合が約7割と他の地域に比べて高くなっている。

居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

居住年数別にみると、「4. 有名な飲食店(うどん等)が多い。」の割合は、居住年数が10年未満で高くなっている。

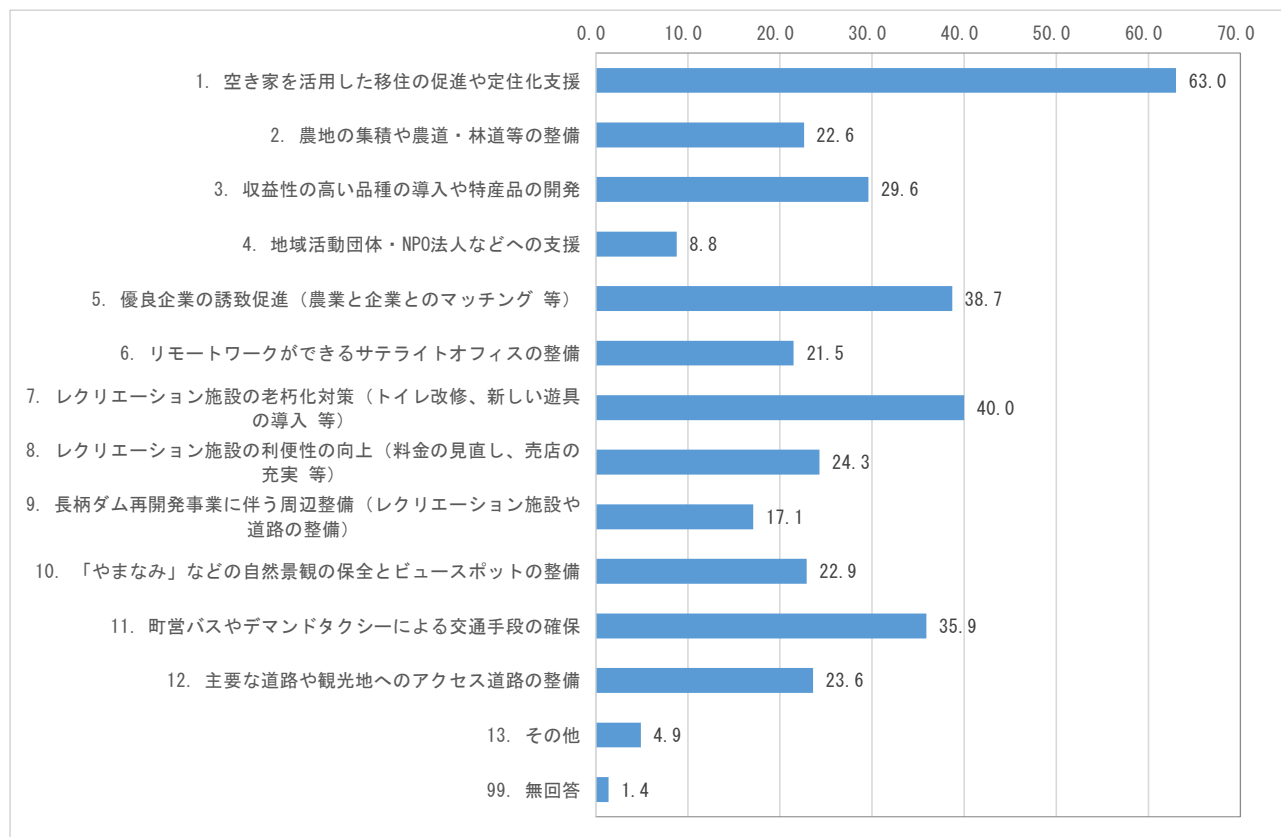
2 調査の結果

【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

	回答者数(人)	1	2	3	4	5	6	7	99	
		山の自然環境が豊かである(柏原渓谷、高鉢の風穴等)	柄杓(主基酒蔵、綾酒造酒蔵、長法)	文化遺産が豊富である(高田、Tatutaの森、高田航空公園等)	レクリエーション施設が豊富である。	有名な飲食店(うどん等)が多い。	農業が盛んである。	運動公園が整備されている(綾川町ふれあい運動公園、綾川町Bタワー)綾上海洋セン	その他具体的に	無回答
全体	948 100.0%	762 80.4%	357 37.7%	382 40.3%	300 31.6%	147 15.5%	362 38.2%	24 2.5%	12 1.3%	
性別	男性	411 100.0%	329 80.0%	161 39.2%	152 37.0%	138 33.6%	73 17.8%	156 38.0%	9 2.2%	7 1.7%
	女性	522 100.0%	421 80.7%	193 37.0%	223 42.7%	159 30.5%	73 14.0%	199 38.1%	12 2.3%	5 1.0%
年代別	10歳代	29 100.0%	22 75.9%	8 27.6%	10 34.5%	15 51.7%	1 3.4%	11 37.9%	1 3.4%	0 0.0%
	20歳代	133 100.0%	100 75.2%	42 31.6%	60 45.1%	58 43.6%	13 9.8%	46 34.6%	0 0.0%	1 0.8%
	30歳代	212 100.0%	169 79.7%	63 29.7%	84 39.6%	77 36.3%	44 20.8%	82 38.7%	4 1.9%	0 0.0%
	40歳代	191 100.0%	155 81.2%	76 39.8%	83 43.5%	60 31.4%	22 11.5%	65 34.0%	6 3.1%	2 1.0%
	50歳代	167 100.0%	144 86.2%	72 43.1%	67 40.1%	46 27.5%	25 15.0%	70 41.9%	6 3.6%	0 0.0%
	60歳代	143 100.0%	119 83.2%	61 42.7%	57 39.9%	32 22.4%	30 21.0%	54 37.8%	6 4.2%	2 1.4%
	70歳以上	70 100.0%	50 71.4%	35 50.0%	20 28.6%	12 17.1%	11 15.7%	32 45.7%	1 1.4%	7 10.0%
職業別	農林業	22 100.0%	16 72.7%	9 40.9%	5 22.7%	8 36.4%	5 22.7%	9 40.9%	0 0.0%	1 4.5%
	自営業・自由業	52 100.0%	38 73.1%	19 36.5%	26 50.0%	17 32.7%	7 13.5%	20 38.5%	3 5.8%	1 1.9%
	会社員、会社役員	312 100.0%	260 83.3%	119 38.1%	127 40.7%	110 35.3%	38 12.2%	118 37.8%	7 2.2%	2 0.6%
	公務員・団体職員	143 100.0%	125 87.4%	47 32.9%	63 44.1%	43 30.1%	34 23.8%	54 37.8%	6 4.2%	0 0.0%
	パート・アルバイト	160 100.0%	121 75.6%	64 40.0%	62 38.8%	50 31.3%	27 16.9%	57 35.6%	3 1.9%	0 0.0%
	専業主婦(主夫)	75 100.0%	60 80.0%	27 36.0%	33 44.0%	19 25.3%	8 10.7%	33 44.0%	0 0.0%	3 4.0%
	学生	53 100.0%	40 75.5%	13 24.5%	22 41.5%	24 45.3%	4 7.5%	19 35.8%	1 1.9%	0 0.0%
	無職	100 100.0%	76 76.0%	45 45.0%	36 36.0%	19 19.0%	17 17.0%	45 45.0%	4 4.0%	4 4.0%
居住地域別	畑田	136 100.0%	112 82.4%	53 39.0%	55 40.4%	41 30.1%	13 9.6%	54 39.7%	4 2.9%	0 0.0%
	千疋	35 100.0%	26 74.3%	13 37.1%	15 42.9%	12 34.3%	8 22.9%	7 20.0%	0 0.0%	1 2.9%
	陶	236 100.0%	186 78.8%	87 36.9%	102 43.2%	60 25.4%	42 17.8%	104 44.1%	2 0.8%	4 1.7%
	萱原	86 100.0%	67 77.9%	19 22.1%	32 37.2%	34 39.5%	7 8.1%	42 48.8%	2 2.3%	2 2.3%
	滝宮	159 100.0%	130 81.8%	51 32.1%	60 37.7%	54 34.0%	30 18.9%	58 36.5%	1 0.6%	2 1.3%
	北	23 100.0%	17 73.9%	8 34.8%	6 26.1%	13 56.5%	5 21.7%	9 39.1%	2 8.7%	0 0.0%
	小野	27 100.0%	18 66.7%	7 25.9%	8 29.6%	11 40.7%	1 3.7%	9 33.3%	3 11.1%	0 0.0%
	羽床下	33 100.0%	30 90.9%	14 42.4%	16 48.5%	14 42.4%	2 6.1%	12 36.4%	1 3.0%	0 0.0%
	枹所東	22 100.0%	19 86.4%	11 50.0%	15 68.2%	4 18.2%	2 9.1%	5 22.7%	0 0.0%	1 4.5%
	枹所西	12 100.0%	9 75.0%	6 50.0%	9 75.0%	4 33.3%	1 8.3%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	山田上	40 100.0%	34 85.0%	24 60.0%	10 25.0%	8 20.0%	11 27.5%	14 35.0%	2 5.0%	0 0.0%
	山田下	46 100.0%	35 76.1%	27 58.7%	18 39.1%	13 28.3%	8 17.4%	13 28.3%	3 6.5%	1 2.2%
	東分	15 100.0%	13 86.7%	5 33.3%	7 46.7%	4 26.7%	4 26.7%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	西分	21 100.0%	19 90.5%	10 47.6%	6 28.6%	6 28.6%	2 9.5%	7 33.3%	3 14.3%	0 0.0%
	羽床上	31 100.0%	27 87.1%	10 32.3%	12 38.7%	13 41.9%	7 22.6%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%
	牛川	20 100.0%	15 75.0%	11 55.0%	9 45.0%	9 45.0%	2 10.0%	9 45.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住歴別	生まれた時からずっと住んでいる。	291 100.0%	232 79.7%	112 38.5%	100 34.4%	92 31.6%	43 14.8%	109 37.5%	10 3.4%	4 1.4%
	綾川町に転入してきた。	436 100.0%	348 79.8%	160 36.7%	183 42.0%	142 32.6%	57 13.1%	180 41.3%	11 2.5%	5 1.1%
	町外に転出したことがあるが、戻ってきた。	205 100.0%	169 82.4%	81 39.5%	94 45.9%	59 28.8%	43 21.0%	65 31.7%	3 1.5%	2 1.0%
居住年数別	2年未満	44 100.0%	32 72.7%	12 27.3%	19 43.2%	18 40.9%	8 18.2%	19 43.2%	0 0.0%	0 0.0%
	2年～5年未満	48 100.0%	33 68.8%	13 27.1%	21 43.8%	21 43.8%	4 8.3%	20 41.7%	2 4.2%	0 0.0%
	5年～10年未満	64 100.0%	51 79.7%	19 29.7%	24 37.5%	27 42.2%	8 12.5%	24 37.5%	2 3.1%	0 0.0%
	10年～20年未満	130 100.0%	107 82.3%	47 36.2%	60 46.2%	46 35.4%	14 10.8%	49 37.7%	2 1.5%	1 0.8%
	20年～30年未満	257 100.0%	211 82.1%	98 38.1%	107 41.6%	83 32.3%	42 16.3%	92 35.8%	3 1.2%	2 0.8%
	30年以上	401 100.0%	325 81.0%	168 41.9%	150 37.4%	105 26.2%	70 17.5%	156 38.9%	15 3.7%	8 2.0%
地域別構想	昭和地域	171 100.0%	138 80.7%	66 38.6%	70 40.9%	53 31.0%	21 12.3%	61 35.7%	4 2.3%	1 0.6%
	陶地域	236 100.0%	186 78.8%	87 36.9%	102 43.2%	60 25.4%	42 17.8%	104 44.1%	2 0.8%	4 1.7%
	滝宮地域	268 100.0%	214 79.9%	78 29.1%	98 36.6%	101 37.7%	42 15.7%	109 40.7%	5 1.9%	4 1.5%
	羽床地域	60 100.0%	48 80.0%	21 35.0%	24 40.0%	25 41.7%	3 5.0%	21 35.0%	4 6.7%	0 0.0%
	綾上地域	207 100.0%	171 82.6%	104 50.2%	86 41.5%	61 29.5%	37 17.9%	65 31.4%	8 3.9%	2 1.0%

問 21 南部地域の魅力を最大限に生かすために、もっと充実したらよいと思うことは何ですか？※○は5つまで

【全体 n=948】



南部地域の魅力を最大限に生かすために、もっと充実したらよいと思うことについては、「1. 空き家を活用した移住の促進や定住化支援」の割合が63.0%と最も高くなっており、次いで「7. レクリエーション施設の老朽化対策（トイレ改修、新しい遊具の導入等）」（40.0%）、「5. 優良企業の誘致促進（農業と企業とのマッチング等）」（38.7%）となっている。

性別にみると、男性は女性に比べて「9. 長柄ダム再開発事業に伴う周辺整備（レクリエーション施設や道路の整備）」の割合が高く、女性は男性に比べて「1. 空き家を活用した移住の促進や定住化支援」の割合が高くなっている。

年代別にみると、「11. 町営バスやデマンドタクシーによる交通手段の確保」の割合は、10歳代や年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

職業別にみると、農林業は他の職業に比べて「2. 農地の集積や農道・林道等の整備」の割合が高くなっている。

居住地域別でみると、綾上地域は綾南地域に比べて「11. 町営バスやデマンドタクシーによる交通手段の確保」の割合が高くなっている。

居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

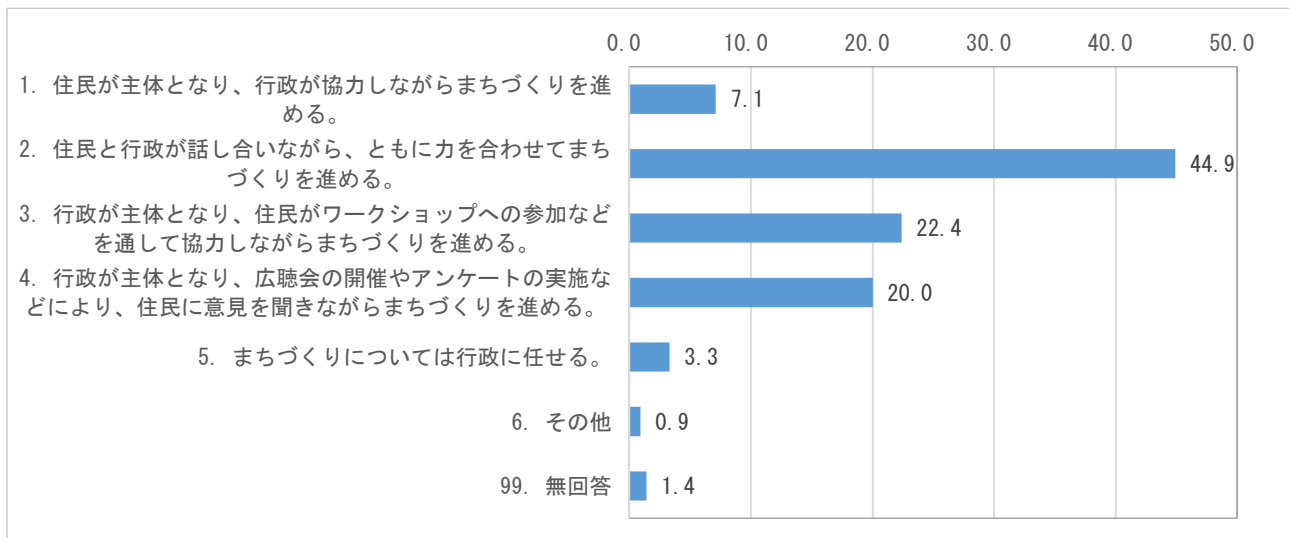
居住年数別にみると、10年未満の方は「7. レクリエーション施設の老朽化対策（トイレ改修、新しい遊具の導入等）」が比較的高く、10年以上の方は「11. 町営バスやデマンドタクシーによる交通手段の確保」が比較的高くなっている。

(6) まちづくりの方法・参加について

問 22 これからのまちづくりで、住民と行政の役割分担は、どのようにお考えですか。

※○は1つだけ

【全体 n=948】



これからのまちづくりで、住民と行政の役割分担をどのように考えているかについては、「2. 住民と行政が話し合いながら、ともに力を合わせてまちづくりを進める。」の割合が44.9%と最も高くなっており、次いで「3. 行政が主体となり、住民がワークショップへの参加などを通して協力しながらまちづくりを進める。」(22.4%)、「4. 行政が主体となり、広聴会の開催やアンケートの実施などにより、住民に意見を聞きながらまちづくりを進める。」(20.0%)となっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年代別にみると、「1. 住民が主体となり、行政が協力しながらまちづくりを進める。」の割合は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

職業別でみると、学生は他の職業と比べて「1. 住民が主体となり、行政が協力しながらまちづくりを進める。」の割合が高くなっている。

居住地域別でみると、北、山田上、東分は他の地区に比べて「1. 住民が主体となり、行政が協力しながらまちづくりを進める。」の割合が高くなっている。

居住歴別にみると、特に大きな差はみられない。

居住年数別にみると、特に大きな差はみられない。

2 調査の結果

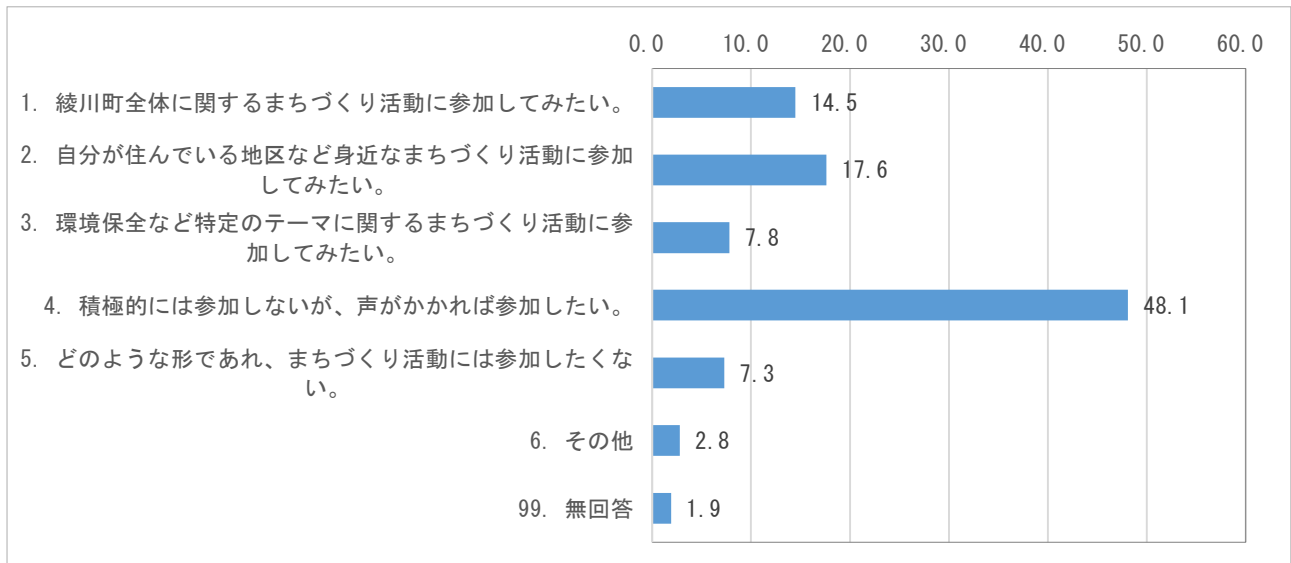
【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)	回答者数(人)	1	2	3	4	5	6	99	
		住民が主体となり、行政が協力しながらまちづくりを進める。	住民と行政が話し合いながら、ともに力を進め合っている。	行政が主体となり、住民の参加などを促して力を進める。	行政が主体となり、市民の働きかけにより、行政の実施などにより、住民に意見を聞きながらまちづくりを進める。	まちづくりに関する行政に任せろ。	その他	無回答	
全体	948 100.0%	67 7.1%	426 44.9%	212 22.4%	190 20.0%	31 3.3%	9 0.9%	13 1.4%	
性別	男性	411 100.0%	37 9.0%	168 40.9%	98 23.8%	79 19.2%	14 3.4%	7 1.7%	8 1.9%
	女性	522 100.0%	28 5.4%	253 48.5%	112 21.5%	107 20.5%	16 3.1%	1 0.2%	5 1.0%
年代別	10歳代	29 100.0%	6 20.7%	13 44.8%	6 20.7%	1 3.4%	3 10.3%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	133 100.0%	11 8.3%	71 53.4%	21 15.8%	23 17.3%	5 3.8%	1 0.8%	1 0.8%
	30歳代	212 100.0%	17 8.0%	92 43.4%	37 17.5%	53 25.0%	8 3.8%	3 1.4%	2 0.9%
	40歳代	191 100.0%	15 7.9%	96 50.3%	40 20.9%	31 16.2%	7 3.7%	1 0.5%	1 0.5%
	50歳代	167 100.0%	11 6.6%	72 43.1%	40 24.0%	40 22.8%	3 1.8%	2 1.2%	1 0.6%
	60歳代	143 100.0%	6 4.2%	52 36.4%	47 32.9%	34 23.8%	2 1.4%	1 0.7%	1 0.7%
	70歳以上	70 100.0%	0 0.0%	29 41.4%	20 28.6%	10 14.3%	3 4.3%	1 1.4%	7 10.0%
職業別	農林業	22 100.0%	0 0.0%	14 63.6%	4 18.2%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%
	自営業・自由業	52 100.0%	4 7.7%	27 51.9%	10 19.2%	8 15.4%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%
	会社員、会社役員	312 100.0%	21 6.7%	134 42.9%	71 22.8%	66 21.2%	11 3.5%	6 1.9%	3 1.0%
	公務員・団体職員	143 100.0%	11 7.7%	74 51.7%	30 21.0%	27 18.9%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%
	パート・アルバイト	160 100.0%	15 9.4%	73 45.6%	31 19.4%	34 21.3%	5 3.1%	1 0.6%	1 0.6%
	専業主婦(主夫)	75 100.0%	1 1.3%	29 38.7%	20 26.7%	19 25.3%	4 5.3%	0 0.0%	2 2.7%
	学生	53 100.0%	9 17.0%	22 41.5%	11 20.8%	8 15.1%	3 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
	無職	100 100.0%	5 5.0%	34 34.0%	28 28.0%	23 23.0%	6 6.0%	0 0.0%	4 4.0%
居住地域別	畑田	136 100.0%	8 5.9%	59 43.4%	30 22.1%	32 23.5%	5 3.7%	1 0.7%	1 0.7%
	千疋	35 100.0%	3 8.6%	21 60.0%	3 8.6%	5 14.3%	0 0.0%	1 2.9%	2 5.7%
	陶	236 100.0%	16 6.8%	102 43.2%	45 19.1%	54 22.9%	15 6.4%	2 0.8%	2 0.8%
	萱原	86 100.0%	3 3.5%	40 46.5%	23 26.7%	16 18.6%	2 2.3%	0 0.0%	2 2.3%
	滝宮	159 100.0%	13 8.2%	67 42.1%	41 25.8%	34 21.4%	3 1.9%	1 0.6%	0 0.0%
	北	23 100.0%	4 17.4%	11 47.8%	6 26.1%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%
	小野	27 100.0%	2 7.4%	13 48.1%	6 22.2%	6 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	羽床下	33 100.0%	0 0.0%	16 48.5%	9 27.3%	6 18.2%	0 0.0%	1 3.0%	1 3.0%
	粉所東	22 100.0%	2 9.1%	9 40.9%	4 18.2%	6 27.3%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
	粉所西	12 100.0%	0 0.0%	7 58.3%	2 16.7%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	山田上	40 100.0%	6 15.0%	15 37.5%	12 30.0%	5 12.5%	0 0.0%	2 5.0%	0 0.0%
	山田下	46 100.0%	4 8.7%	21 45.7%	11 23.9%	5 10.9%	3 6.5%	0 0.0%	2 4.3%
	東分	15 100.0%	3 20.0%	8 53.3%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	西分	21 100.0%	2 9.5%	8 38.1%	5 23.8%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%
	羽床上	31 100.0%	0 0.0%	15 48.4%	8 25.8%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	牛川	20 100.0%	0 0.0%	11 55.0%	3 15.0%	4 20.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%
	居住歴別	生まれた時からずっと住んでいる。	291 100.0%	24 8.2%	142 48.8%	57 19.6%	47 16.2%	11 3.8%	3 1.0%
綾川町に転入してきた。		436 100.0%	26 6.0%	192 44.0%	104 23.9%	96 22.0%	13 3.0%	1 0.2%	4 0.9%
町外に転出したことがあるが、戻ってきた。		205 100.0%	16 7.8%	86 42.0%	46 22.4%	44 21.5%	7 3.4%	5 2.4%	1 0.5%
居住年数別	2年未満	44 100.0%	4 9.1%	21 47.7%	6 13.6%	12 27.3%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
	2年～5年未満	48 100.0%	5 10.4%	18 37.5%	12 25.0%	12 25.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
	5年～10年未満	64 100.0%	3 4.7%	30 46.9%	17 26.6%	12 18.8%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%
	10年～20年未満	130 100.0%	13 10.0%	63 48.5%	27 20.8%	18 13.8%	9 6.9%	0 0.0%	0 0.0%
	20年～30年未満	257 100.0%	19 7.4%	117 45.5%	54 21.0%	53 20.6%	7 2.7%	4 1.6%	3 1.2%
	30年以上	401 100.0%	23 5.7%	175 43.6%	95 23.7%	83 20.7%	12 3.0%	5 1.2%	8 2.0%
地域別構想	昭和地域	171 100.0%	11 6.4%	80 46.8%	33 19.3%	37 21.6%	5 2.9%	2 1.2%	3 1.8%
	陶地域	236 100.0%	16 6.8%	102 43.2%	45 19.1%	54 22.9%	15 6.4%	2 0.8%	2 0.8%
	滝宮地域	268 100.0%	20 7.5%	118 44.0%	70 26.1%	51 19.0%	6 2.2%	1 0.4%	2 0.7%
	羽床地域	60 100.0%	2 3.3%	29 48.3%	15 25.0%	12 20.0%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.7%
	綾上地域	207 100.0%	17 8.2%	94 45.4%	48 23.2%	36 17.4%	5 2.4%	3 1.4%	4 1.9%

問 23 まちづくり活動への参加について、どのようにお考えですか。

※○は1つだけ

【全体 n=948】



まちづくり活動への参加方法として、どのようなものが考えられるかについては、「4. 積極的には参加しないが、声がかかれば参加したい。」の割合が48.1%と最も高くなっており、次いで「2. 自分が住んでいる地区など身近なまちづくり活動に参加してみたい。」(17.6%)、「1. 綾川町全体に関するまちづくり活動に参加してみたい。」(14.5%)となっている。

性別にみると、男性は女性に比べて「1. 綾川町全体に関するまちづくり活動に参加してみたい。」の割合が高く、女性は男性に比べて「4. 積極的には参加しないが、声がかかれば参加したい。」の割合が高くなっている。

年代別にみると、10歳代の「1. 綾川町全体に関するまちづくり活動に参加してみたい。」の割合が、34.5%とほかの年代と比べて高くなっている。

職業別にみると、学生の「1. 綾川町全体に関するまちづくり活動に参加してみたい。」の割合が、34.0%とほかの職業と比べて高くなっている。

居住地域別でみると、綾上地域は綾南地域地区に比べて「2. 自分が住んでいる地区など身近なまちづくり活動に参加してみたい。」の割合が高く、綾南地域は綾上地域に比べて「1. 綾川町全体に関するまちづくり活動に参加してみたい。」の割合が高くなっている。

居住歴別にみると、綾川町出身者（生まれた時からずっと住んでいるまたは町外に転出したことがあるが、戻ってきた方）は「1. 綾川町全体に関するまちづくり活動に参加してみたい。」や「2. 自分が住んでいる地区など身近なまちづくり活動に参加してみたい。」の割合が比較的高くなっている。

居住年数別にみると、2年未満、2年～5年未満の方は「2. 自分が住んでいる地区など身近なまちづくり活動に参加してみたい。」の割合が比較的高くなっている。

2 調査の結果

【性別・年代別・職業別・居住地域別・居住歴別・居住年数別・地域別構想】

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)		回答者数(人)	1 綾川町 全体に 参加し てみた り。	2 自分 が住 んで いる 地区 など 身近 なま ちづ くり 活動 に参 加し てみ た。	3 環境 保全 など 特定 の テ マに 関 する ま ちづ くり 活 動に 参 加し て み た。	4 積 極 的 に 参 加 し な い が、 声 が か か れ ば 参 加 し た い。	5 ま ちづ くり 活 動に 参 加 し な い が、 ま ちづ くり 活 動に 参 加 し た い。	6 そ の 他	99 無 回 答
全体	948 100.0%	137 14.5%	167 17.6%	74 7.8%	456 48.1%	69 7.3%	27 2.8%	18 1.9%	
性別	男性	411 100.0%	85 20.7%	72 17.5%	34 8.3%	172 41.8%	28 6.8%	13 3.2%	7 1.7%
	女性	522 100.0%	52 10.0%	93 17.8%	37 7.1%	279 53.4%	38 7.3%	13 2.5%	10 1.9%
年代別	10歳代	29 100.0%	10 34.5%	4 13.8%	2 6.9%	11 37.9%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	133 100.0%	24 18.0%	19 14.3%	14 10.5%	60 45.1%	10 7.5%	3 2.3%	3 2.3%
	30歳代	212 100.0%	24 11.3%	44 20.8%	8 3.8%	109 51.4%	19 9.0%	5 2.4%	3 1.4%
	40歳代	191 100.0%	30 15.7%	43 22.5%	13 6.8%	88 46.1%	9 4.7%	5 2.6%	3 1.6%
	50歳代	167 100.0%	23 13.8%	25 15.0%	12 7.2%	89 53.3%	12 7.2%	4 2.4%	2 1.2%
	60歳代	143 100.0%	15 10.5%	23 16.1%	16 11.2%	71 49.7%	9 6.3%	8 5.6%	1 0.7%
	70歳以上	70 100.0%	10 14.3%	9 12.9%	8 11.4%	28 40.0%	7 10.0%	2 2.9%	6 8.6%
職業別	農林業	22 100.0%	1 4.5%	6 27.3%	0 0.0%	11 50.0%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%
	自営業・自由業	52 100.0%	11 21.2%	10 19.2%	3 5.8%	22 42.3%	2 3.8%	3 5.8%	1 1.9%
	会社員・会社役員	312 100.0%	47 15.1%	57 18.3%	16 5.1%	154 49.4%	22 7.1%	11 3.5%	5 1.6%
	公務員・団体職員	143 100.0%	26 18.2%	32 22.4%	17 11.9%	64 44.8%	3 2.1%	0 0.0%	1 0.7%
	パート・アルバイト	160 100.0%	16 10.0%	26 16.3%	17 10.6%	84 52.5%	11 6.9%	2 1.3%	4 2.5%
	専業主婦(主夫)	75 100.0%	6 8.0%	11 14.7%	1 1.3%	45 60.0%	8 10.7%	2 2.7%	2 2.7%
	学生	53 100.0%	18 34.0%	4 7.5%	7 13.2%	20 37.7%	4 7.5%	0 0.0%	0 0.0%
	無職	100 100.0%	11 11.0%	16 16.0%	10 10.0%	39 39.0%	15 15.0%	6 6.0%	3 3.0%
居住地域別	畑田	136 100.0%	20 14.7%	27 19.9%	13 9.6%	59 43.4%	14 10.3%	2 1.5%	1 0.7%
	千疋	35 100.0%	4 11.4%	5 14.3%	6 17.1%	12 34.3%	4 11.4%	2 5.7%	2 5.7%
	陶	236 100.0%	43 18.2%	38 16.1%	9 3.8%	122 51.7%	12 5.1%	7 3.0%	5 2.1%
	萱原	86 100.0%	11 12.8%	15 17.4%	7 8.1%	41 47.7%	5 5.8%	5 5.8%	2 2.3%
	滝宮	159 100.0%	25 15.7%	27 17.0%	16 10.1%	78 49.1%	10 6.3%	2 1.3%	1 0.6%
	北	23 100.0%	6 26.1%	0 0.0%	0 0.0%	14 60.9%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%
	小野	27 100.0%	4 14.8%	2 7.4%	0 0.0%	16 59.3%	3 11.1%	0 0.0%	2 7.4%
	羽床下	33 100.0%	2 6.1%	7 21.2%	3 9.1%	16 48.5%	3 9.1%	2 6.1%	0 0.0%
	粉所東	22 100.0%	1 4.5%	7 31.8%	0 0.0%	9 40.9%	3 13.6%	2 9.1%	0 0.0%
	粉所西	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	8 66.7%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	山田上	40 100.0%	8 20.0%	10 25.0%	4 10.0%	15 37.5%	2 5.0%	1 2.5%	0 0.0%
	山田下	46 100.0%	6 13.0%	6 13.0%	5 10.9%	22 47.8%	3 6.5%	3 6.5%	1 2.2%
	東分	15 100.0%	1 6.7%	4 26.7%	1 6.7%	8 53.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
	西分	21 100.0%	2 9.5%	5 23.8%	2 9.5%	9 42.9%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%
	羽床上	31 100.0%	3 9.7%	9 29.0%	3 9.7%	14 45.2%	2 6.5%	0 0.0%	0 0.0%
	牛川	20 100.0%	1 5.0%	4 20.0%	2 10.0%	12 60.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住歴別	生まれた時からずっと 住んでいる。	291 100.0%	46 15.8%	59 20.3%	25 8.6%	124 42.6%	25 8.6%	8 2.7%	4 1.4%
	綾川町に転入して きた。	436 100.0%	53 12.2%	66 15.1%	31 7.1%	231 53.0%	32 7.3%	15 3.4%	8 1.8%
	町外に転出したこと があるが、戻ってきた。	205 100.0%	36 17.6%	39 19.0%	16 7.8%	94 45.9%	11 5.4%	4 2.0%	5 2.4%
居住年数別	2年未満	44 100.0%	6 13.6%	10 22.7%	2 4.5%	23 52.3%	2 4.5%	1 2.3%	0 0.0%
	2年～5年未満	48 100.0%	7 14.6%	11 22.9%	2 4.2%	23 47.9%	3 6.3%	1 2.1%	1 2.1%
	5年～10年未満	64 100.0%	11 17.2%	11 17.2%	4 6.3%	32 50.0%	1 1.6%	4 6.3%	1 1.6%
	10年～20年未満	130 100.0%	22 16.9%	17 13.1%	14 10.8%	70 53.8%	6 4.6%	1 0.8%	0 0.0%
	20年～30年未満	257 100.0%	37 14.4%	43 16.7%	18 7.0%	122 47.5%	26 10.1%	5 1.9%	6 2.3%
	30年以上	401 100.0%	54 13.5%	75 18.7%	32 8.0%	186 46.4%	30 7.5%	15 3.7%	9 2.2%
地域別構想	昭和地域	171 100.0%	24 14.0%	32 18.7%	19 11.1%	71 41.5%	18 10.5%	4 2.3%	3 1.8%
	陶地域	236 100.0%	43 18.2%	38 16.1%	9 3.8%	122 51.7%	12 5.1%	7 3.0%	5 2.1%
	滝宮地域	268 100.0%	42 15.7%	42 15.7%	23 8.6%	133 49.6%	17 6.3%	8 3.0%	3 1.1%
	羽床地域	60 100.0%	6 10.0%	9 15.0%	3 5.0%	32 53.3%	6 10.0%	2 3.3%	2 3.3%
	綾上地域	207 100.0%	22 10.6%	46 22.2%	18 8.7%	97 46.9%	15 7.2%	6 2.9%	3 1.4%

3 資料編

(1) 調査票

～ 住民アンケート調査 ～

「綾川町都市計画マスタープラン」の改訂に向けて
将来のまちづくりについてご意見をお聞かせください

住民の皆さまへ

平素は町政運営に格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

綾川町では、まちづくりの手引書である総合振興計画と、将来にわたって暮らしやすいまちづくりの基本方針を定めた「綾川町都市計画マスタープラン」に基づき、まちづくりを進めています。平成27年3月の計画策定以降、綾川町を取り巻く環境が大きく変化しているため、このたび見直しを行うこととなりました。

このアンケート調査は、これからの綾川町のまちづくりの指針となるよう、住民の皆さまのご意見やご要望をお聞きし、「都市計画マスタープラン」の改訂に役立てるものです。

町内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為抽出した2,500の方にお送りしています。お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、アンケート調査は無記名方式ですので、個人が特定されることはありません。また、回答は統計的に処理し、計画改訂のための目的以外で使用することは一切ありません。

令和4年8月 綾川町長 前田 武俊

ご記入にあたってのお願い

- アンケート票にはお名前のご記入は必要ありません。
- アンケートは、対象とさせていただいた（宛名の）ご本人がご回答ください。
- ご回答は、回答用紙の該当する番号に○印をつけ、記入すべきところは、具体的内容をご記入ください。
- ご記入後のアンケート調査票は、同封しました返信用封筒（切手不要）に入れて、令和4年8月末までに郵便ポストに投函してください。
- また、インターネット上でもご回答いただけます。下記URLまたはQRコードからアクセスしてください。
その場合は、調査票の返信は必要ありません。
(インターネット回答) <https://arcg.is/0v0WPv>
- ご不明な点、ご質問等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。



【問合せ先】

綾川町役場 建設課 〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮299番地
TEL : 087-876-5280 FAX : 087-876-1948
担当 : 渡邊、伊賀

「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【1枚目】

I. あなた自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別を選んで下さい。※○は1つだけ

1. 男性 2. 女性 3. 回答したくない

問2 あなたの年代を選んで下さい。※○は1つだけ

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

問3 あなたの職業をおしえてください。※○は1つだけ

1. 農林業 2. 自営業・自由業 3. 会社員、会社役員
4. 公務員・団体職員 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦(主夫)
7. 学生 8. 無職 9. その他(具体的に:)

問4 あなたのお住まいの地区をおしえてください。※○は1つだけ

1. 畑田 2. 千足 3. 陶 4. 萱原 5. 滝宮 6. 北
7. 小野 8. 羽床下 9. 粉所東 10. 粉所西 11. 山田上 12. 山田下
13. 東分 14. 西分 15. 羽床上 16. 牛川

問5 あなたは綾川町にいつから住んでいますか？※○は1つだけ

1. 生まれた時からずっと住んでいる。
2. 綾川町に転入してきた。
3. 町外に転出したことがあるが、戻ってきた。
4. その他(具体的に:)

問6 あなたは綾川町に通算して何年くらいお住みになっていますか？
※○は1つだけ

1. 2年未満 2. 2年～5年未満 3. 5年～10年未満
4. 10年～20年未満 5. 20年～30年未満 6. 30年以上

問7 あなたのお住まいの住宅の形態はどれですか？※○は1つだけ

1. 持家(戸建) 2. 持家(分譲マンション等)
3. 賃貸(民営アパート・マンション等) 4. 公営住宅
5. 社宅(独身寮、公務員住宅等) 6. その他()

「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【2枚目】

Ⅱ. あなたがお住まいの地域についてお聞きします。

問8 現在お住まいの地域の「暮らしやすさ」「安全・安心」「ゆとり・うるおい」「コミュニティ」について、『現状の満足度』と『将来に向けた重要度』それぞれにお答えください。
※それぞれ該当する番号に「1つだけ○印」をつけてください。

評価項目	現状の満足度					→	将来に向けた重要度			
	満足できる	まあ満足できる	どちらとも言えない	あまり満足できない	満足できない		とても重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
(例) 幹線道路(国道・県道)の整備状況	5	4	③	2	1	→	4	③	2	1
1) 「暮らしやすさ」について										
a. 幹線道路(国道・県道)の整備状況	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
b. 身近な生活道路(町道)の整備状況	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
c. 公共交通機関(バス・鉄道)の利用のしやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
d. 食料品や日用品などの買物のしやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
e. 下水道や農業集落排水施設の整備状況	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
f. 身近な遊び場や公園の整備状況	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
g. 病院など保健・医療施設の利用しやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
h. 子育て支援施設(学童保育、保育所等)の利用しやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
i. 高齢者福祉施設の利用しやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
2) 「安全・安心」について										
j. 河川やため池等における浸水対策の状況	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
k. 避難所や公共施設などの耐震化補強の整備状況	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
l. 避難所における防災、備蓄品などの充実	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
m. 歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
n. 信号機、ガードレールなどの交通安全施設の整備状況	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
o. 照明灯・防犯灯などの防犯施設の充実度	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
p. 地域での防犯・防災の取り組み	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1

「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【3枚目】

- 「2枚目からの続き」
- 問8 現在お住まいの地域の「暮らしやすさ」「安全・安心」「ゆとり・うるおい」「コミュニティ」について、『現状の満足度』と『将来に向けた重要度』それぞれにお答えください。
※それぞれ該当する番号に「1つだけ○印」をつけてください。

評価項目	現状の満足度					→	将来に向けた重要度			
	満足できる	まあ満足できる	どちらとも言えない	あまり満足できない	満足できない		とても重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
(例) 幹線道路(国道・県道)の整備状況	5	4	③	2	1	→	4	③	2	1
3) 「ゆとり・うるおい」について										
q. 緑や川など自然の身近さや豊かさ、きれいさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
r. 集落や田園などの田園風景の美しさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
s. 住宅地やまちなみ景観の美しさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
t. 図書館などの文化施設の利用しやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
u. 健康増進やスポーツのしやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
v. 社寺や史跡などの歴史的資源の保全・活用	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
4) 「コミュニティ」について										
w. 身近な公民館などのコミュニティ施設の利用しやすさ	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
x. 地域の交流活動	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
y. 高齢者や子どもに対する見守り活動	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1
z. まちづくりへの住民参加(意見発言による政策決定への参画等)	5	4	3	2	1	→	4	3	2	1

Ⅲ. 綾川町の将来像についてお聞きします。

問9

あなたは、綾川町が将来どのようなまちになってほしいと思いますか。あなたのイメージに最も近いものを選んでください。 ※○は3つまで

1. 生活環境(上下水道・公園・公共施設等)が充実した住宅地を中心としたまち
2. 幹線道路(国道・県道)や生活道路(町道)等の道路網が整備されたまち
3. 誰もが利用しやすい公共交通(バス、鉄道)が整備されたまち
4. 医療機関や保健サービスが充実しているまち
5. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
6. 高齢者や障がい者などを大切にされたまち
7. 防災や防犯など災害対策等が充実した安全で安心して暮らせるまち
8. 水辺や緑など自然環境や景観に優れたまち
9. 環境への負荷軽減に配慮した、地球にやさしいまち
10. 農業が盛んなまち
11. 商業や工業が活発な活力のあるまち
12. 歴史や伝統文化などの地域資源を活用した観光が盛んなまち
13. 農村集落・里山など田園景観に優れたまち
14. その他 具体的に

問10

あなたがお住まいの地区は、今後どうあるべきとお考えですか？ あなたの考えに近いものを選んでください。 ※○は3つまで

1. 農業が盛んな地区(田畑等、農林畜産業が主体の地区)
2. 工業が盛んな地区(工場や工業団地がある工業主体の地区)
3. 商業が盛んな地区(商業施設や商店等商業主体の地区)
4. 住宅が中心となる地区(住宅が主体の地区)
5. 公共施設や医療施設が立地する官公庁主体の地区
6. 誰もが利用しやすい公共交通(バス、鉄道)が充実した地区
7. 自然環境(山・川・水・景観)が豊かな地区(美しい自然を守る地区)
8. 農村集落・里山などの田園地区
9. 神社・仏閣や史跡などを守る地区
10. その他 具体的に

「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【5枚目】

IV. 綾川町のまちづくりについてお聞きします。

綾川町では、少子高齢化、人口減少の進展が見込まれており、税込減少、福祉費用等の増加によって、今後の財政状況は厳しさを増すと考えられています。その一方で、様々な世代が長く綾川町に住み続けるには、町の魅力を高めるまちづくりを進める必要があります。

こうした状況を踏まえて、綾川町のまちづくりをどのように進めたらよいか、皆様のお考えを回答してください。

問11 定住化の受け皿となる住宅地の確保について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
※○は1つだけ

1. 町営住宅等の公営住宅を充実させればよい。
2. 高齢者向けの住宅を整備するとよい。
3. 地区ごとに建物の規模や種類、敷地の使い方などのルールを定めるとよい。
4. 地震などの災害に備え、建物の建て替えや耐震化などを促進するとよい。
5. 空き家の活用、空き家対策等を行うことがよい。
6. 現状のままでよく、これ以上住宅地を増やす必要はない。
7. その他具体的に

()

問12 商業のあり方について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
※○は1つだけ

1. 綾川駅周辺に商業施設を誘致するとよい。
2. 国道32号沿道に商業施設が増えるとよい。
3. 既存の商店街(旧国道32号沿道)を活性化させるとよい。
4. 身近に行ける店舗(コンビニ等)が増えるとよい。
5. 買物に不便を感じないので今のままでよい。
6. その他具体的に

()

問13 工場や企業を誘致することに対して、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
※○は1つだけ

1. 雇用の場を確保し産業振興を図るため新規の工業用地を開発し企業を誘致するとよい。
2. 既存の工業用地周辺や未利用地において企業を誘致するとよい。
3. 工業用地を造成してまで企業を誘致する必要ない。(現状維持)
4. その他具体的に

()

「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【6枚目】

問14

農地のあり方について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。

※○は1つだけ

1. 新たな開発を規制して、農地は積極的に保全する。
2. 必要最小限の開発(住宅地などに利用)は容認するが基本的に農地は保全する。
3. 開発場所を定めるなど計画的な開発に伴う農地の減少はある程度やむを得ない。
4. 農地は積極的に保全する必要はない。
5. その他具体的に

問15

道路の整備について、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※○は3つまで

1. 幹線道路(国道・県道)や生活道路(町道)の新設
2. 既存道路の拡幅整備や交差点の改良整備
3. 歩道の設置や拡幅、段差を解消するなどの歩行空間の整備
4. 避難道路の整備
5. 街路灯や防犯灯の整備
6. 老朽橋の修繕、耐震補強
7. 道路への植栽や緑化
8. 河川沿いの自転車道・サイクリングロードの整備
9. 道路整備はこれ以上必要と思わない
10. その他具体的に

問16

公園・緑地の整備について、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※○は3つまで

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 身近で遊べる小さな公園や緑地の整備 | 2. 総合運動公園のような大きい公園や緑地の整備 |
| 3. 防災機能を有した公園や緑地の整備 | 4. 水辺やレクリエーション空間の整備 |
| 5. 既存の公園への遊具整備や緑化整備 | 6. 既存公園の通路・トイレ等のバリアフリー化整備 |
| 7. 森林、樹木などの緑地の保全 | 8. これ以上公園や緑地は必要と思わない。 |
| 9. その他具体的に | |

「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【7枚目】

問17

良好な景観形成について、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※○は3つまで

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 山なみや河川の自然景観の保全 | 2. 農村集落や里山などの田園景観の保全 |
| 3. 河川や水路の整備による水辺景観づくり | 4. 神社・仏閣・史跡等歴史的建造物や景観の保全 |
| 5. 住宅地の街並みが統一された景観整備 | 6. 広告デザインの統一などの幹線道路沿道の景観整備 |
| 7. 綾川駅周辺における都市景観づくり | 8. 景観について規制や誘導は必要ない。 |
| 9. その他具体的に | |

問18

今後の公共交通について、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※○は2つまで

1. 鉄道本数の充実や駅前広場の整備など、ことடன்利用者の利便性の向上
2. 町内循環型バスやデマンド交通(乗り合いタクシー)の充実
3. 町内運行だけでなく、高松市や坂出市などの周辺市町と連絡するバスの運行
4. バスや鉄道車両、バス停や駅のバリアフリー化
5. 主要なバス停や駅の周辺に駐車場・駐輪場を整備する。
6. 自家用車による移動が主なため、公共交通の必要性は感じない。
7. その他具体的に

問19

今後の防災・減災に対して、どのような取り組みが重要だとお考えですか？

※○は2つまで

1. 河川改修等による浸水対策
2. 電気、水道等のライフラインの二重化、耐震化の促進
3. 避難場所の確保及び耐震化の促進
4. 非常食、飲料水、毛布等を備えた備蓄品の確保
5. 災害時に互いに助け合う自主防災組織の設置、コミュニティの強化
6. 防災意識の向上に向けた避難訓練の実施、講習会等による防災知識の向上
7. その他具体的に

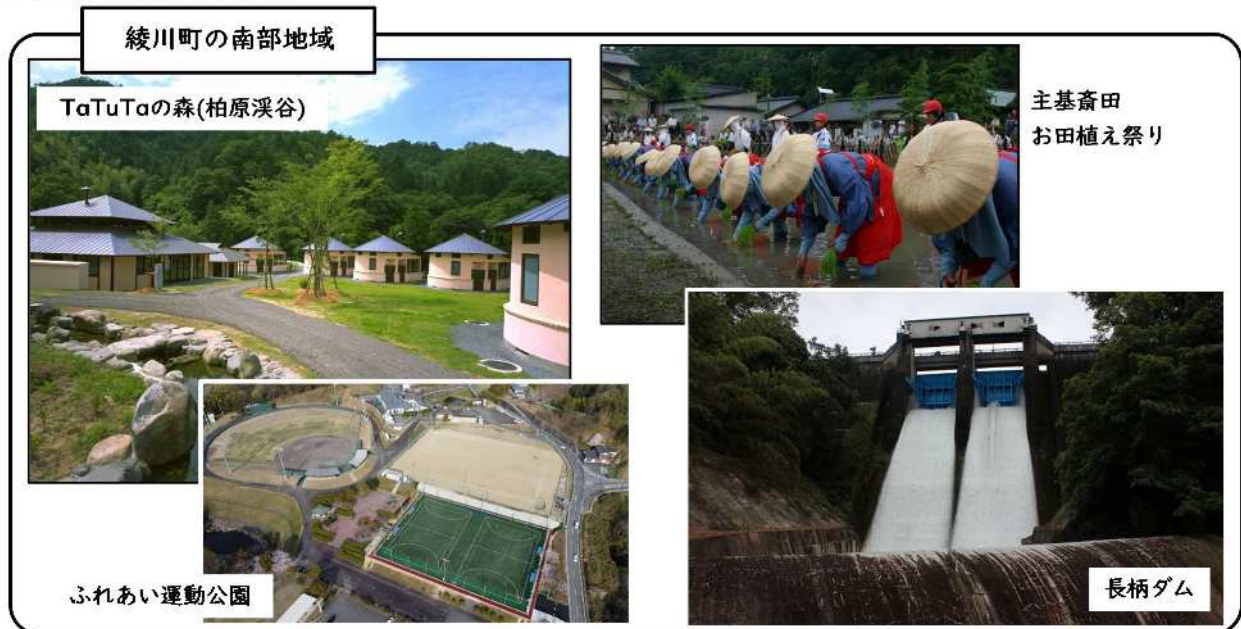
「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【8枚目】

V. 今後のまちづくりについてお聞きします。

本町の北部地域（旧綾南地域）では、「綾川町都市計画マスタープラン」に基づき、官公署や福祉医療施設、商業施設など都市機能の集積、綾川駅開設による利便性・快適性の向上、民間活力の誘導による市街地形成などコンパクトで暮らしやすいまちづくりを実践しています。便利で快適な市街地整備の効果により、若者の移住・定住が増加し、本町の人口維持に貢献しています。

一方、南部地域（旧綾上地域）では、若年層の流出や産業の停滞等の課題を抱えおり、地域経済の活性化対策を検討しているところです。

今後は、北部地域の市街地整備を継続するとともに、南部地域の自然環境や地域資源を生かし、魅力と活力ある地域づくりに取り組むことで「いいひといいまちいい笑顔～住まいるあやがわ～」を実現していきたいと考えています。



問20 南部地域の強みとなる地域資源や将来にわたって大切にしたいと思う魅力は何ですか？
※○は3つまで

1. 自然環境が豊かである。(柏原溪谷、高鉢山の風穴 等)
2. 文化遺産が豊富である。(主基斎田、弘法庵、綾菊酒造酒蔵、長柄ダム 等)
3. レクリエーション施設が豊富である。(TaTuTaの森、高山航空公園 等)
4. 有名な飲食店(うどん等)が多い。
5. 農業が盛んである。
6. 運動公園が整備されている。(綾川町ふれあい運動公園、綾川町B&G綾上海洋センター)
7. その他具体的に

「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【9枚目】

問21

南部地域の魅力を最大限に生かすために、もっと充実したらよいと思うことは何ですか？
※○は5つまで

1. 空き家を活用した移住の促進や定住化支援
2. 農地の集積や農道・林道等の整備
3. 収益性の高い品種の導入や特産品の開発
4. 地域活動団体・NPO法人などへの支援
5. 優良企業の誘致促進（農業と企業とのマッチング等）
6. リモートワークができるサテライトオフィスの整備
7. レクリエーション施設の老朽化対策（トイレ改修、新しい遊具の導入等）
8. レクリエーション施設の利便性の向上（料金の見直し、売店の充実等）
9. 長柄ダム再開発事業に伴う周辺整備（レクリエーション施設や道路の整備）
10. 「やまなみ」などの自然景観の保全とビュースポットの整備
11. 町営バスやデマンドタクシーによる交通手段の確保
12. 主要な道路や観光地へのアクセス道路の整備
13. その他具体的に

VI. まちづくりの参加についてお聞きします。

問22

これからのまちづくりで、住民と行政の役割分担は、どのようにお考えですか。
※○は1つだけ

1. 住民が主体となり、行政が協力しながらまちづくりを進める。
2. 住民と行政が話し合いながら、ともに力を合わせてまちづくりを進める。
3. 行政が主体となり、住民がワークショップ※への参加などを通して協力しながらまちづくりを進める。

※ワークショップ：様々な立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめていく場です。

4. 行政が主体となり、広聴会の開催やアンケートの実施などにより、住民に意見を聞きながらまちづくりを進める。
5. まちづくりについては行政に任せる。
6. その他具体的に

問23

まちづくり活動への参加について、どのようにお考えですか。
※○は1つだけ

1. 綾川町全体に関するまちづくり活動に参加してみたい。
2. 自分が住んでいる地区など身近なまちづくり活動に参加してみたい。
3. 環境保全など特定のテーマに関するまちづくり活動に参加してみたい。
4. 積極的には参加しないが、声がかかれば参加したい。
5. どのような形であれ、まちづくり活動には参加したくない。
6. その他具体的に

「綾川町都市計画マスタープラン」改訂に関するアンケート調査【10枚目】

問24 綾川町のまちづくりに関して、ご意見やアイデアがございましたら自由にご記述ください。

■お住いの地域について

■綾川町全体について

以上でアンケートは終了です。 ご協力いただき、ありがとうございました。
たいへん恐れいますが、記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れて、8月末までに、郵便ポストに投函してくださいますようお願いします。